


ATOK

for Windows

基本的な使い方

- Windows 10/8.1の初期設定では、ATOKの状態はタスクバーで確認できます。
 - 言語バー  を表示したい ▶P.10
 - タスクバーからATOKメニューを呼び出したい ▶P.13
 - ATOKパレットを表示したい ▶P.55
- 辞書や登録単語の引き継ぎ方法は、Q&A集をご確認ください。 ▶P.36

ATOK for Windows

ATOKの新機能・特長

1

動作環境

2

ATOKの使い方

3

辞書・データの利用とカスタマイズ

4

補足

5

付録

6

ヘルプとWeb上のサポートFAQを活用!



ヘルプの画面から、ヘルプとWeb上のサポートFAQを同時に検索できます。

① 質問文を入力

質問や、やりたいことを自分のことばで入力します。

② ヘルプ・WebFAQ一括検索 をクリック

ヘルプとWeb上のサポートFAQから、関連するトピックが検索されます。


ヘルプ・WebFAQ一括検索の使い方について詳しくは ▶ P.8

マニュアルでの表記

■ ヘルプ



マニュアルで紹介していない機能や、機能の詳しい説明はATOKのヘルプをご覧ください。マニュアルで紹介している機能のうち、詳しい説明や関連する説明のヘルプがあれば、**[ATOKヘルプキーワード]**というマークに続けて、ヘルプのキーワードを記載しています。▶ P.8 ヘルプを活用する

■ 画面上に表示されている文字

メニュー名・コマンド名、ダイアログボックス名、ダイアログボックス内のシート名・項目名は [] で囲んで表記します。ダイアログボックス内のボタンは、**OK** のように、グレーの  で表記します。

■ キーボード・キー操作

● 本書では109/106キーボードのキーで表記しています。101英語キーボードでは、次のキーが異なります。

- ・ **[Shift] +  キー** (101英語キーボードでは **[Caps Lock]** キー)
- ・ ** キー** (101英語キーボードでは **[Shift] + [Ctrl] + [Caps Lock]** キー)

● お使いのキーボードの種類によっては、キーの表面に書かれている **[Ctrl]** のような文字が、マニュアルのキーの文字と異なる場合があります。

● 同時に複数のキーを押す場合は、**[Shift] +  キー** のように、キーを「+」で結んでいます。

■ 使用しているOS・画面

本書ではWindows® 10上で、言語バーを表示せずに、タスクバーにATOKの状態を表示しているものとして説明しています。お使いのOSや設定によっては、画面表示やOSの操作が一部異なる場合があります。

目次

ATOKの 新機能・特長

1

ATOKの新機能・特長.....	5
発話表現の変換精度を向上、実在しない地名を指摘、校正支援機能の指摘内容を後からチェック!	

動作環境

2

動作環境.....	6
無償試用版をお持ちの場合.....	7

ATOKの使い方

3

ヘルプを活用する.....	8
文字入力の基本.....	9
ATOKをオンにする.....	9
タスクバーの使い方.....	11
言語バーの使い方.....	12
ATOKメニューについて.....	13
漢字かな交じり文を入力する.....	15
文節の区切りを直す.....	15
候補ウィンドウの使い方.....	16
Windows ストアアプリ上やタッチ環境での候補ウィンドウの表示.....	18
いろいろな文字の入力.....	19
カタカナを入力する.....	19
アルファベットを入力する.....	19
記号を入力する.....	20
難しい漢字を入力する.....	21
顔文字を入力する.....	21
外字を入力する.....	21
日付を入力する.....	21
入力を補助するパレット.....	22
文字パレット.....	22
手書き文字入力.....	23
クリックパレット.....	23
日付入力パレット.....	23

辞書・
データの利用
とカスタマイズ

4

変換・確定に便利な機能.....	24
専門用語変換辞書.....	24
不適切な表現・誤りを指摘する.....	27
話し言葉や方言・文語表現で変換する.....	27
よく使う単語や表現・フレーズを簡単に入力する.....	28
入力しようとしている文字列を推測して表示する.....	28
省入力データを使って簡単に入力する.....	29
別の言い回しや表現にするー連想変換「類語ファインダー」ー.....	29
メール署名など、よく使う文書をお気に入り文書に登録して利用する.....	30
文例集から選んで入力するー定型文書入力ー.....	30
よく使う単語を辞書に登録する.....	30
電子辞典でことばの意味を確かめる.....	31
文章の閲覧中にことばの意味を調べるーATOKイミクルー.....	31
文章の入力・変換中にことばの意味を調べる.....	31
設定のカスタマイズ.....	33
使いやすい設定に変更する.....	33
アプリケーション別に設定を切り替える.....	33
辞書・データのメンテナンス.....	34
辞書をメンテナンスする.....	34
文書やRSS、Atomから自動で単語を登録する.....	34
旧バージョンのATOKや、Microsoft IMEで登録した単語を利用する.....	35
ATOKの環境をバックアップする.....	35
辞書・登録単語に関するよくある質問.....	36
同じパソコンにある旧バージョンのATOKやWindows付属の日本語入力システムに 登録した単語を利用したい.....	36
変換時に「辞書として扱えません」「辞書ファイルが見つかりません」などのメッセージが表示される... 旧バージョンのATOKで登録した単語(ユーザー辞書)を別のパソコンで利用したい.....	36
ATOKで登録した単語や設定を別のパソコンで利用したい.....	36
ATOK連携電子辞典を別ドライブにインストールしたい.....	37
旧バージョンで使っていた変換辞書・電子辞典・省入力データを使用したい.....	37
旧バージョンで使っていた角川類語新辞典for ATOK(連想変換辞書)を使用したい.....	39

ATOK Passportで使えるATOK for Windowsのインストールとサービスの設定	40
インストールとサービスの設定の手順	40
シリアルナンバー・オンライン登録キー・User IDの確認	41
旧バージョンのATOKをお持ちの場合	42
プログラムをダウンロードする	43
ATOK for Windowsをインストールする	44
ATOKの環境を設定する	46
ATOKを有効化する	49
再起動する	51
ATOKクラウドサービスの初期設定をする	52
ATOK My Passportの設定をする	53
ATOKがインストールできたかどうか確認する	55
ATOKクラウドサービスの使用方法を確認する	56
ATOK My Passportページの表示を確認する	58
辞書・辞典をインストールする	59
辞書、電子辞典、省入力データがインストールできたかどうか確認する	60
インストールした内容を削除するには	61
ATOKを削除(アンインストール)する	61
ツールを削除(アンインストール)する	62
辞書・辞典を削除(アンインストール)する	62
ATOKクラウドサービスとは.....	63
最新のキーワードを受け取る－ATOKキーワードExpress－	63
複数の環境でATOKを同じように使用する－ATOK Sync アドバンス－	63
変換したことを翻訳する－8カ国語クラウド翻訳変換 for ATOK－	65
ATOKクラウド推測変換サービス	65
ATOKナントカ変換サービス	65
ATOKクラウド辞典サービス	65
ATOKクラウド文章校正サービス	65
ATOK Passportをもっと活用する	66
ATOK My Passport	66
ATOKマンスリーレポート	66

ショートカットキー 一覧 (ATOKスタイル)	67
ショートカットキー 一覧 (MS-IMEスタイル)	68
索引	69

ATOKの新機能・特長

最新のATOKで追加、または強化された機能について紹介します。▶[ATOKヘルプキーワード] 新機能

発話表現の変換精度を向上 UP↑

ATOKディープコアエンジンをさらに強化し、今回は、発話表現の変換精度を向上させました。

チャットのような身近な人と楽しむ会話をするように、複数の文節からなる長めの文章でも、自然でスムーズな入力・変換操作を行うことができます。

※通常の入力・変換結果と同様の見え方をします。

変換例

今回のATOK 旧ATOK	今日調子いいわ 強調しいいわ
今回のATOK 旧ATOK	こないだの件どうなった？ こないだの剣道なった？

実在しない地名を指摘 New!

実際には存在しない市や、所在地を誤認している市を変換した際に、校正支援機能がその誤りを指摘し、正しい地名を表示します。名称に自信が持てないときも、正確な地名をATOKが提示します。

※誤りやすい市に着目して指摘します。すべての地名を網羅するものではありません。

[例] 「はかたし」と入力して変換

博多市《実在しない地名「博多区/福岡市/福岡市博多区」》在住の

博多区在住の	
福岡市在住の	
福岡市博多区在住の	

選択：Tab
先頭を確定：Shift+Enter

(Shift)+[Enter]キーを押すと、訂正候補で確定

実在しない市の指摘例

地域名を市と認識	幕張市、有明市
区と混同	博多市、阿倍野市
思い違い(県名と同名)	岩手市、島根市

所在地(都道府県)の認識誤りの指摘例

よく似た地名との混同	三重県大津市
県境の所在地を認識	神奈川県町田市

校正支援機能の指摘内容を後からチェック! New!

文章の誤りや不備を防ぐための変換中の校正支援機能も、文章の入力・変換中のタイミングでは見逃すケースも多々あります。指摘に気付かず確定したなど、校正支援の訂正候補を使用しなかった場合にでも後から指摘の振り返りができるよう、校正支援 見逃し指摘ビューアを新しく搭載しました。

文章作成中は入力に集中し、後からまとめて確認して修正したいといった場合に便利です。

※校正支援 見逃し指摘ビューアは必ず横書きで表示されます。縦書きの表示にはなりません。

※校正支援 見逃し指摘ビューアは、ATOKメニューから呼び出すこともできます。

● 指摘に気付かず、そのまま確定した場合

指摘の見逃しを通知するアイコンが表示されます。アイコンをクリックすると、ビューアが表示されます。※続けて文字入力するなどした場合は、通知アイコンは消えます。

作成しないわけではない

校正支援 見逃し指摘ビューア

● 文章をひとつおりに作成後に指摘を確認する場合

日本語入力オフからオンに切り替えて、カーソル位置の入力モード表示を呼び出します。ここに表示された通知アイコンをクリックしてビューアを表示します。

前回までの指摘も確認できる

校正支援の種別と、指摘対象、訂正候補などを確認

校正支援 見逃し指摘ビューア

動作環境

インストールする前に、Windowsが正しくインストールされているか、必要な空き容量やメモリが十分にあるかなどを確認してください。

OS	Windows 10*1 / Windows 8.1 各日本語版が正しく動作するパソコン *1 Windows 10では、下記エディションで動作します。 Windows 10 Home / Pro / Enterprise / Education ※32ビット(x86) / 64ビット(x64) 環境に対応しています。
ハードディスク 必要容量	730MB以上 ※Microsoft® .NET Framework 4.6.2 以上がない環境には、Microsoft .NET Framework 4.6.2 をインストールします。 (ハードディスク必要容量 3.2GB) ※お使いのハードディスクのフォーマット形式や確保容量などにより、必要容量は異なります。

- 「一太郎」に搭載のATOKは、同一ユーザーが使用するパソコン3台までインストールできます。ただし、同時に使用できません。
- ATOK Passportを契約したお客様が占有するパソコン(Windows/Mac) およびAndroid端末、合計10台まで導入できます。
- インストールするドライブやフォルダーを変更することはできません。
- 「ATOKクラウドサービス」のご利用には、インターネット常時接続環境と、あらかじめ製品のユーザー登録が必要です。
- 「ATOKキーワードExpress」は、最新バージョンのATOKでのみご利用いただけます。
- 「ATOK Sync アドバンス」は、利用開始後12か月無料でご利用いただけます。Windows以外の環境でご利用いただくには、各デバイスに対応したATOKが別途必要です。
※一太郎2021添付のATOKからのお申込期限は、2023年3月31日です。
- JUSTオンラインアップデートを利用するには、インターネット常時接続環境が必要です。

! 注意 Windows 7には対応していません

Windows 7の場合は、本製品をインストールできません。

? 困った インストールで困ったら

サポートFAQでは、インストールに関するよくあるお問い合わせとその答えをまとめたものを提供しています。サポートFAQは、サポート情報サイトから参照できます。

サポート情報サイト <https://support.justsystems.com/>

◆無償試用版をお持ちの場合

ATOKの無償試用版を利用して、「一太郎」に搭載のATOKをインストールしたい場合は、「一太郎」に搭載のATOKを新たにインストールしてください。

シリアルナンバーを入力するだけでは利用できません。

ヘルプを活用する

ヘルプでは、マニュアルに載っていない便利な機能や、困ったときの対処方法も説明しています。ヘルプを見るには、タスクバーの[あ]を右クリックし、[ATOKメニュー]をクリックして[基本のメニュー]を選択したあと、[ヘルプ・ATOKのヘルプ]を選択します。

▶P.13 ATOKメニューについて

● 目次から探す

[目次]シートで、見たいタイトルをダブルクリックします。

● キーとなることばで探す

[キーワード]シートで、キーとなることばを入力して[表示]をクリックします。タイトルの一覧が表示されたときは、見たいタイトルを選択して[表示]をクリックします。マニュアルの本文中に▶[ATOKヘルプキーワード]のように書かれているときは、そのキーワードで探すと、マニュアルの説明に関連するヘルプを見ることができます。


● ヘルプ・サポートFAQから探す - ヘルプ・WebFAQ一括検索 -

知りたい内容を入力し、ATOKのヘルプとWeb上のサポートFAQを同時に検索し、関連するヘルプやFAQを探すことができます。

※本機能を実行すると、ヘルプとWeb上のサポートFAQから質問の答えを検索するための「ヘルプ・WebFAQ一括検索ツール」が起動します。
※サポートFAQの情報を検索するには、インターネットに接続できる環境が必要です。インターネットに接続していない場合は、ヘルプだけが検索されます。

1. [質問文を入力] に質問や、やりたいことを入力し、

ヘルプ・WebFAQ一括検索 をクリックします。

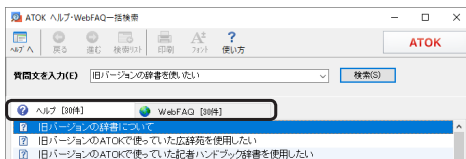
※ [質問文を入力] が表示されない場合は、 [ホーム] をクリックします。



ヘルプ・WebFAQ一括検索ツールが起動し、検索結果が一覧表示されます。

2. ヘルプ、WebFAQの、検索結果一覧の見たいほうの

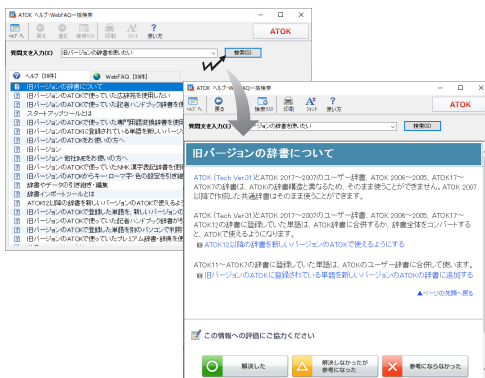
タブをクリックします。



3. 検索結果一覧で、内容を表示したい項目上でダブル


クリックします。

ヘルプの内容が表示されます。



※検索結果一覧に戻るには、 [検索リスト] をクリックします。

※ATOKのヘルプの最初の画面に戻るには、 [ヘルプへ] をクリックします。

※ [使い方] をクリックすると、ツールの使い方や検索のヒントを確認できます。

文字入力の基本

ATOKをオンにする

ATOKを使って文字を入力するときは、ATOKが使えるようになっていないか（オンになっていないか）を、デスクトップ画面のタスクバーで確認します。

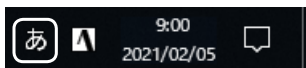
ATOKのオン/オフは、**[半角/全角]**キーを押すか、下記の囲みを付けたボタンをクリックして切り替えます。

▶ P.11 タスクバーの使い方

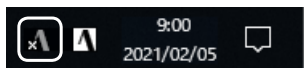
※ATOKスタイルの場合は、**[変換]**キーでATOKをオンにすることもできます。

● Windows 10/8.1のタスクバーでの表示

・ ATOKがオンの状態



・ ATOKがオフの状態



！ 注意 初期状態では、ATOKパレットは表示されません

ATOKのインストール直後の設定では、ATOKパレットは表示されません。ATOKの状態は、デスクトップ画面のタスクバーに表示されます。

▶ P.55 ★ポイント ATOKパレットを表示する

！ 注意 OSの初期設定では言語バーは表示されません

OSの初期設定では、Windowsの言語バーは表示されません。ATOKの状態は、デスクトップ画面のタスクバーに表示されます。

※言語バーを表示する設定にして、言語バーからATOKの入力文字種やモードの変更・確認、ATOKメニューの利用を行えるようにもできます。

▶ P.10 ★ポイント Windowsの言語バーを表示する

? 困った タスクバーや言語バーにATOKのボタンが表示されない

タスクバーや言語バーにATOKのボタンが表示されていない場合は、ATOK以外の日本語入力システムを使う設定になっている場合があります。

Windowsの [スタート] ボタンをクリックし、アプリ一覧から [ATOK-ATOKを既定の言語に設定] を選択します。

※Windows 8.1の場合は、アプリ一覧画面で [ATOKを既定の言語に設定] をクリックまたはタップし、ATOKを既定の言語として設定します。

? 困った 「ライセンス認証に失敗したため、ATOKを利用することができません」というメッセージが表示される

「一太郎」に搭載のATOKをインストールした場合、ATOKをオンにしたりATOKで入力・変換したりすると、ライセンス認証が自動的に行われます。

▶ P.54 ? 困った 「ライセンス認証に失敗したため、ATOKを利用することができません」というメッセージが表示される

● タッチ環境でATOKの状態を切り替える

Windows 10やWindows 8.1のタッチキーボードを使用しているときは、ATOKの状態を切り替えるためのボタンが表示されます。

※一定時間たつと表示されなくなります。ATOKのオン/オフを切り替えると、再び表示されます。

※アプリケーションによっては、表示されない場合があります。



A をタップするとメニューが表示されます。

モードなどを切り替えた場合は、[変更したモードを元に戻す] を選択すると元に戻せます。

各メニューの内容について詳しくは、ヘルプをご覧ください。

▶ [ATOKヘルプキーワード](#) タッチキーボード

★ポイント Windowsの言語バーを表示する

Windowsの言語バーを表示すると、ATOKの入力文字種やモードの変更・確認、ATOKメニューの利用が、言語バーから行えるようになります。

● Windows 10の場合

Windowsの [スタート] ボタンをクリックして  [設定] をクリックし、[デバイス] を選択します。

画面左側で [入力] をクリックし、画面右側で [キーボードの詳細設定] をクリックします。

[入力方式の切り替え] の [使用可能な場合にデスクトップ言語バーを使用する] をオンにします。

● Windows 8.1の場合

Windowsの [スタート] を右クリックして [コントロールパネル] を選択し、[入力方法の変更] または [言語] を選択します。

画面左側で [詳細設定] をクリックし、[入力方式の切り替え] の [使用可能な場合にデスクトップ言語バーを使用する] をオンにします。

★ポイント 入力方法(ローマ字入力/カナ入力)の設定を変える

入力方法は、スタートアップツールで選択した、または引き継いだ入力方法によって異なります。あとから入力方法を変更するときは、次の方法で操作します。

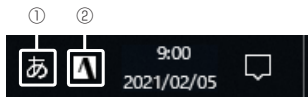
1. プロパティ (環境設定) を起動します。 ▶ P.33 使いやすい設定に変更する
2. [入力・変換] シートの [設定項目] で [基本] を選択します。
3. [入力] の [方法] で [ローマ字入力] または [カナ入力] を選択します。
4. **OK** をクリックします。

★ポイント ATOKオフで入力してしまった文字を読みに戻す

ATOKオフで入力してしまった場合、入力直後であれば **Shift** + **変換** キーを押すと、入力中の状態(読み)に戻すことができます。

タスクバーの使い方

Windowsのデスクトップ画面のタスクバーでは、ATOKのオン/オフの状態や、入力中の文字種を確認できます。また、入力・変換の設定を変更したり、便利なツールを呼び出すためのメニューを表示したりすることもできます。



① 入力文字種

・クリックまたはタップ

ATOKのオン/オフが切り替わります。▶P.9 ATOKをオンにする

・右クリックまたはタッチ長押し

モード切り替えメニューが表示されます。▶P.13 ATOKメニューについて

② 入力方式のアイコン

ATOKのアイコンが表示されていない場合は、クリックまたはタップしてATOKを選択します。

！ 注意 ATOKメニュー・言語バーを使った設定の変更は、編集集中の文書にだけ有効です

文書を切り替えたときや、アプリケーションを終了したときは、変更した内容が無効になります。引き続き有効にするときは、プロパティ（環境設定）で設定を変更します。
プロパティ（環境設定）の起動方法 ▶P.33 使いやすい設定に変更する、 ▶P.13 ATOKメニューについて

★ポイント OSの初期設定では、言語バーは表示されません

言語バーを表示したい場合は、Windowsのコントロールパネルから設定してください。

▶P.10 **★ポイント** Windowsの言語バーを表示する



言語バーの使い方

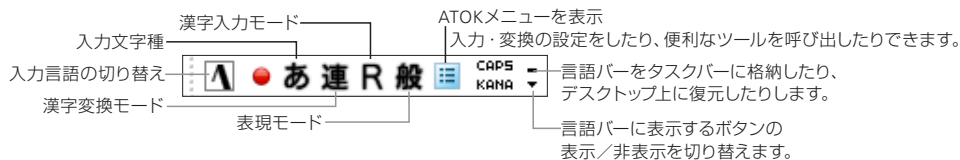
言語バーを表示しているときは、言語バーで、現在入力できる文字の種類など、文字の入力・変換に必要な情報を確認できます。

ボタンをクリックして、入力・変換の設定を変更したり、便利なツールを呼び出すためのメニューを表示したりすることもできます。

※OSの初期設定では言語バーは表示されません。▶P.10 **★ポイント** Windowsの言語バーを表示する

※ATOKパレットの使い方は、ヘルプをご覧ください。▶**[ATOKヘルプキーワード]** ATOKパレットの表示

例えば、言語バーが次のように表示されているときは、入力する文字の種類がひらがな（[あ]）で、入力方法がローマ字入力（[R]）です。▶**[ATOKヘルプキーワード]** 言語バーのボタン



★ポイント 言語バーに文字パレットなどのツールを起動するボタンを表示する


文字パレット、手書き文字入力、クリックパレット、日付パレット、プロパティ（環境設定）、単語登録、辞書ユーティリティを起動するボタンを、言語バーに表示することができます。ATOKのオン/オフや入力文字種の状態を表す「ATOKステータス」を表示することもできます。

言語バーの▼【オプション】をクリックして表示されるメニューで、表示したいツール名を選択し、メニューの左端にチェックマーク(✓)を付けます。入力文字種など、表示されているボタンを非表示にすることもできます。



ATOKメニューについて

入力や変換の状態を変更したり、各ツールを起動したりするときには、ATOKメニューを使います。

ATOKメニューは、デスクトップ画面のタスクバーの「あ」*1を右クリックまたはタッチ長押しして表示されるメニューから、 [ATOKメニュー] をクリックまたはタップして表示します。

*1入力中の文字種によって表示されるアイコンは異なります。

言語バーを表示している場合は、言語バーの をクリックまたはタップします。

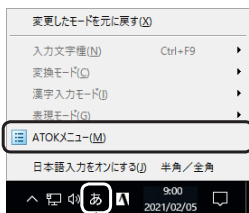
ATOKがオンの状態で、**[Ctrl]+[F10]**キーを押しても表示できます。

※本書では、タスクバーを基本に説明しています。

ATOKメニューは、大きく次の3つのメニューに分かれています。

目的や用途に合わせて、メニュー自体を切り替えて使うことができます。

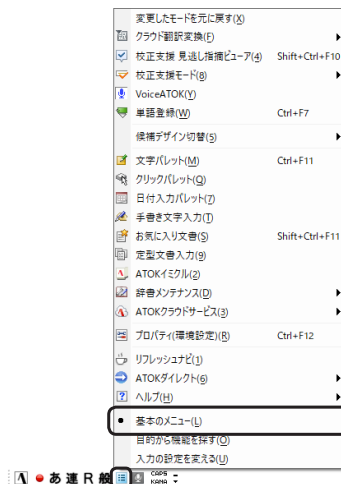
● 基本のメニュー



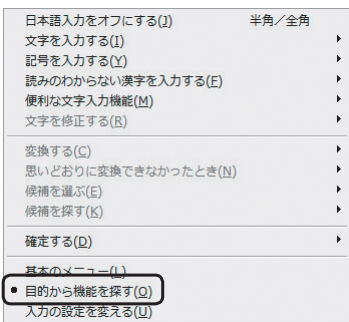
ここを右クリックまたはタッチ長押し

※入力中の文字種によって表示されるアイコンは異なります。

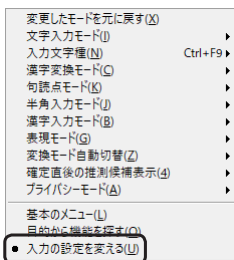
● 基本のメニュー（言語バーの場合）



● 目的から機能を探す



● 入力の設定を変える



※画面はATOK Passportのもので、表示されるメニューは製品によって異なります。

※ツールのインストール状態などにより、表示されるメニューが上図と異なる場合があります。

●カーソル位置の入力モード表示

文字入力中のカーソル位置には、入力モードの情報やボタンを表示することができます。

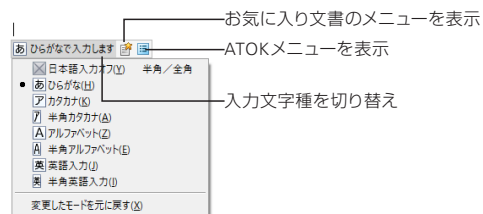
表示されたボタンを使って、入力文字種を切り替えたり、ATOKメニューを表示したりできます。タスクバーや言語バーなどにポインターを移動する手間が省け、視線を移すことなく操作できます。

なお、校正支援機能による指摘を見逃して確定した場合は、見逃した校正支援の指摘があることを通知するアイコンも表示されます。通知アイコンをクリックして校正支援 見逃し指摘ビューアを表示し、指摘内容を確認できます。

▶P.27 不適切な表現・誤りを指摘する

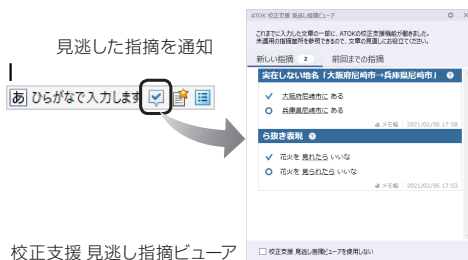
●入力文字種をクリックした画面

※表示されるボタンは状態によって異なります。



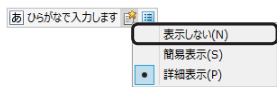
●校正支援の指摘見逃し通知が表示された画面

※校正支援機能による指摘がある場合に表示されます。



カーソル位置に、入力モードやボタンを表示しないようにする

表示されている入力モードやボタンの上で右クリックし、表示されるメニューから「表示しない」を選択します。



※もう一度表示するようになりたいときは、プロパティ(環境設定)の「入力・変換」シートで、「表示」を選択し、「カーソル位置に入力モードを表示」で「簡易表示」または「詳細表示」を選択します。

★ポイント スタート画面からツールを起動する

スタート画面からATOKのツールなどを起動したいときは、ATOKツールメニューを使用します。

※起動すると、デスクトップ画面に切り替わります。

ATOKツールメニューを起動するには、Windowsの「スタート」ボタンをクリックし、アプリ一覧から「ATOK-ATOKツール」をクリックします。

※Windows 8.1の場合は、アプリ一覧画面で「ATOKツール」をクリックまたはタップします。

起動できるツールの種類について詳しくは、ヘルプをご覧ください。

▶「ATOKヘルプキーワード」起動



漢字かな交じり文を入力する

ひらがな、漢字やカタカナが交じった文を入力するとき
は、次の流れで操作します。

入力する

そうむぶのみなさんへ

スペースキーを
押して変換する

総務部の皆さんへ

Enter キーを
押して確定する

総務部の皆さんへ

入力中の文字を取り消す

Esc キーを押すと、入力中のすべての文字を削除できます。
入力中の文字のうち、1文字だけ取り消すときは、それぞ
れ次のキーを押します。

- カーソルの前(左横)の文字を取り消す
Backspace キー
- カーソルのうしろ(右横)の文字を取り消す
Delete キー

変換前の状態に戻す

スペースキーを押して変換したあとでまちがいに気が付
いたときは、Backspace キーを押すと、変換前の状態に戻
ります。

ほかの候補を選択する

スペースキーを押して変換したあと、続けてスペースキー
を押します。

ほかに変換候補があれば **候補ウィンドウ** が表示される
ので、スペースキー・↑ キーを押してほかの候補を選択
し、Enter キーを押して確定します。

▶ P.16 候補ウィンドウの使い方

文節の区切りを直す

文節の区切りがまちがえていると、正しいことばに変換
されません。このときは、次の流れで操作して、文節の
区切りを直します。

私は、今日は医者に行きました。

↓ ↓ キーを押して、正しく変換された文節を
確定する

私は、今日は医者に行きました。

↓ ←・→ キーを押して、文節の区切りを変える

私は、きょうはいしゃにいきました。

↓ スペースキーを押して変換しなおす

私は、今日歯医者に行きました。

↓ Enter キーを押して確定する

私は、今日歯医者に行きました。

縦書きのときのキー操作

一太郎などのアプリケーションを使って縦書きの文書
で文字を入力するときは、使うキーが横書きのときと異
なります。

- 文節を確定する ← キー
- 文節の区切りを直す ↑・↓ キー

候補ウィンドウで選択する

文節を区切り直して変換したときの結果を、候補ウィン
ドウから選択することもできます。

▶ P.16 候補ウィンドウの使い方

? 困った ↓ キーでの確定、←・→ キーでの文節の区切り直しができない

スタートアップツールでWindows付属の日本語入力システム (Microsoft IME) 風のキー操作にする設定にしたときは、↓
キーでの確定や、←・→ キーでの文節の区切り直しができません。

マニュアルで説明しているキーで操作するときは、プロパティ (環境設定) で設定を変更する必要があります。

▶ [ATOKヘルプキーワード] 区切り直しができない

候補ウィンドウの使い方

スペースキーを押して変換したあと続けてスペースキーを押すと、ほかの候補が表示されます。候補の一覧が表示されたものを候補ウィンドウと呼びます。▶[ATOKヘルプキーワード] 候補ウィンドウ

候補ウィンドウには、辞書に登録されている単語のほか、カタカナ・英字の候補など、ほかの変換機能の候補や文節を区切り直して変換したときの結果も表示されます。

音藤

1	音藤
2	再藤
3	齋藤
4	齋藤
5	西藤
6	西東
7	西塔
8	齋藤
9	齋藤

1/54 🔍 目

0 サイトウ, 野付... カタカナ・英字

候補の1~9番には、辞書に登録されている単語や一時文書学習(ATOKインサイト)で追加された単語が表示されます。

インストール直後の設定では、基本辞書セットのほか、人名変換辞書セットとアクセサリ辞書セットの単語も表示されます。

▶P.16 ★ポイント スペースキーで変換できる辞書セットを変更する

▶P.16 ★ポイント 一時文書学習候補を表示しないようにする

▶P.26 ★ポイント 辞書セットと辞書

● 候補の選択と確定

スペースキー・**[↑]**キーを押してほかの候補や、文節を区切り直して変換した結果を選択し、**[Enter]**キーで確定します。

各候補の左側に表示されている番号(1~9)のキーを押しても、確定できます。

● 前後の候補群を表示

[変換]キー/**[Shift]**+**[変換]**キー*1 で前後の候補群を表示します。

*1MS-IMEスタイルの場合は**[PageDown]**/**[PageUp]**キー、または**[Shift]**+**[↓]**/**[↑]**キーです。

候補の0番には、カタカナ・英字の候補など、ほかの変換機能の候補や文節を区切り直して変換した結果が表示されます。**[0]**キーを押すと、先頭の変換機能の候補一覧が表示され、**[0]**キーを押すたびに表示される候補が切り替わります。

▶P.17 ★ポイント **[0]**キーで切り替えられる候補

音藤

1	音藤
2	再藤
3	齋藤
4	齋藤
5	西藤
6	西東
7	西塔
8	齋藤
9	齋藤

1/54 🔍 目

0 サイトウ, 野付... カタカナ・英字

→
[0]キーで
候補一覧を
切り替え

サイトウ

1	サイトウ	カタカナ
2	サイトウ	カタカナ
3	サイトウ	
4	saitou	英字
5	saitou	英字
6	SAITOU	英字
7	SAITOU	英字
8	Saitou	英字
9	Saitou	英字

1/9 🔍 目

0 サイトウ, 野付... カタカナ・英字
変換候補に戻る

カタカナ・英字

変換候補が多い名前などを変換する場合、**[目]**をクリックして表示されるメニューから、先頭や末尾が同じ文字で並べ替えたり、部首で並べ替えたりして、目的の漢字を探しやすくなることもできます。

★ポイント スペースキーで変換できる辞書セットを変更する

プロパティ(環境設定)の[辞書・学習]シートで、各辞書セットの[スペース変換で候補に追加する]で設定を変更します。

★ポイント 一時文書学習候補を表示しないようにする

プロパティ(環境設定)の[入力・変換]シート-[変換補助]で、[一時文書学習候補を表示する]をオフにします。

▶[ATOKヘルプキーワード] ATOKインサイト

★ポイント 0 キーで切り替えられる候補

候補ウィンドウの0番には、次のような候補が表示されます。
プロパティ（環境設定）の「入力・変換」シートの「候補ウィンドウ-0キー切替」で、表示する候補や表示される順番を設定することもできます。▶P.33 使いやすい設定に変更する

訂正候補	校正支援で指摘対象の誤りがある場合に訂正候補が表示されます。▶P.27 不適切な表現・誤りを指摘する
スペルチェック候補	誤った英単語の可能性がある場合に、スペルチェック候補が表示されます。
日付形式変換候補	日付や時刻を入力したときに、異なる形式の日付や時刻が表示されます。
郵便番号付き住所	郵便番号から住所を変換したときに、郵便番号付きの住所が表示されます。
別文節区切り	文節を区切り直して変換したときの結果が表示されます。
変換候補	推測候補から[Tab] / [↓]キーで候補ウィンドウを表示したときに、通常の変換候補に切り替えます。
推測候補	以前に入力した文字列や省入力データに登録されている文字列が表示されます。 ▶P.28 入力しようとしている文字列を推測して表示する ※推測候補は、初期設定ではオフです。表示したい場合はオンにします。
カタカナ・英字	全角／半角のカタカナや英字、ひらがなに交換された候補などが表示されます。
連想変換候補	変換中のことばの表記から連想される類義語や言い換え表現が表示されます。 ▶P.29 別の言い回しや表現にする－連想変換「類語ファインダー」－ ※「入力・変換」シートの「連想変換」で「候補ウィンドウで表示する」をオフにしている場合は、「連想変換候補」をオンにしても、候補ウィンドウの0番には表示されません。
ATOKダイレクト 検索結果	ATOKダイレクトのプラグインがインストールされている場合に、ATOKダイレクトの候補が表示されます。 ▶[ATOKヘルプキーワード] ATOKダイレクト ※ATOKダイレクトをインストールしただけでは、候補ウィンドウに表示されません。プロパティ（環境設定）で設定を変更してください。自動検索に対応しているプラグインだけ表示できます。

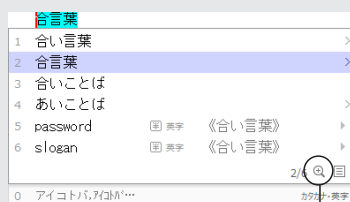
★ポイント 候補ウィンドウをはっきりした色に変更する

タスクバーの「あ」を右クリックし、[≡] [ATOKメニュー] をクリックして「基本のメニュー」を選択したあと、「候補デザイン切替」からデザインの種類を選択します。「クラシック」を選ぶとATOK 2015以前のデザインに変更できます。ピンクや黄色などカラフルな色を選択すると、画面が明るくなります。Windows 10のダークモードに適したデザインも選択できます。

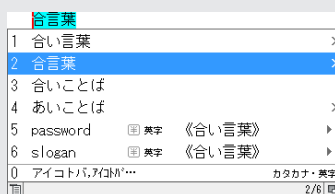
▶P.13 ATOKメニューについて

※Windows ストアアプリ上では変更できません。

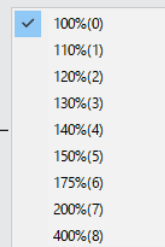
標準



クラシック



候補ウィンドウの文字が小さくて見づらいときは、100%～400%まで8段階に拡大して表示することができます。



Windows ストアアプリ上やタッチ環境での候補ウィンドウの表示

Windows 10やWindows 8.1のWindows ストアアプリ上と、タッチキーボードを使用しているときは候補ウィンドウの表示が異なります。

● Windows ストアアプリ上の表示



通常の候補ウィンドウとは異なり、以下の機能が削除されています。そのほかは、通常の候補ウィンドウと同じように操作できます。

- ・ **拡大表示**
通常の候補ウィンドウで変更したサイズが反映されません。
- ・ **候補並べ替え (部首)**
部首で並べ替えることはできません。
- ・ **末尾文字並べ替え / 先頭文字並べ替え**
Ctrl + **PageUp** キー / **Ctrl** + **PageDown** キーで並べ替えられます。
- ・ **候補メニュー**
候補メニューは表示できません。

● タッチキーボードの表示

厚い	熱い	あつい	アツイ [全角] カクナ	アツイ [半角] カクナ	A T U I [全角] 英字	atui [半角] 英字	Atui 変換 ×
暑い	篤い	アツイ [全角]	アツイ [半角]	a t u i [全角] 英字	A t u i [全角] 英字	ATUI [半角] 英字	> 温井

タッチキーボードで文字を入力すると、候補ウィンドウに推測候補・変換候補の両方が混在する状態で表示されます。

変換 をタップすると、入力した文字が変換され、変換候補だけに絞り込まれた状態で表示されます。

候補ウィンドウでの操作は次のとおりです。

・ 変換する

変換 をタップします。

※候補が表示されている状態では、スペースキーをタップしても変換できません。スペースキーをタップすると、次の候補に移動します。

・ 確定する

目的の候補をタップします。

または、スペースキーや **変換** をタップして目的の候補に反転カーソルを合わせて、**Enter** キーをタップします。

・ 確定する前の状態に戻す

⏪ をタップします。

・ 候補をスクロールする

候補ウィンドウ上で左フリック / 右フリックします。

・ 多くの候補を表示する

候補ウィンドウ上で上フリックします。元に戻すときは下フリックします。

・ 情報ウィンドウを表示する

同音語や電子辞典の情報を表示したい候補を長押しして表示されるメニューから、[電子辞典検索] を選択します。

※同音語情報や電子辞典に説明のない単語の場合は、メニューは表示されません。

・ 入力を取り消す

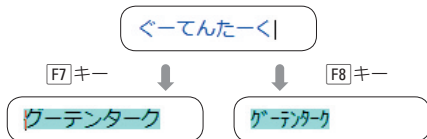
× をタップします。

いろいろな文字の入力

ATOKヘルプキーワード ▶ カタカナ、記号

カタカナを入力する

ことばによっては、漢字に変換するのと同じように、スペースキーを押すだけでカタカナに変換できます。スペースキーを押してもカタカナに変換できないときは、**[F7]**キー（全角）または**[F8]**キー（半角）を押します。**[F7]**・**[F8]**キーで変換・確定したことばは、次回からはスペースキーで変換できるようになります。



※タッチキーボードの場合は、候補の一覧にカタカナやアルファベットの候補も表示されるので、目的の候補を選択して確定します。

！ 注意 カナ入力でアルファベットを入力するとき
は **カタカナ** キーを押してから入力します

もう一度 **カタカナ** キーを押すと、元のモードに戻ります。
※MS-IMEスタイルの場合は、**Caps Lock** キーです。

アルファベットを入力する

[F9]キー（全角）または**[F10]**キー（半角）を押します。
[F9]・**[F10]**キーで変換・確定したことばは、次回からはスペースキーで変換できるようになります。



それぞれ、続けて**[F9]**・**[F10]**キーを押すと、「mike」→「MIKE」→「Mike」の順に、大文字／小文字が変わります。

？ 困った 入力モードの戻し方がわからない

半角／全角キーを2回押して日本語入力のオン／オフを切り替えると、元の入力モードに戻ります。

★ポイント 半角のアルファベット・数字・記号を続けて入力する

キーボード上の文字や数字・記号を半角で入力するモード **半角入力** にしておきます。

1. タスクバーの [あ] を右クリックまたはタッチ長押しして表示されるメニューから [漢字入力モード・半角入力] を選択します。
※言語バーをお使いの場合は、言語バーの [R] / [か] をクリックし、表示されるメニューから [半角入力] を選択します。
2. 文字を入力します。
大文字／小文字を変えるときは、**[Shift]**キーを押したまま文字キーを押します。
3. 入力が終わったら、タスクバーの [半] をクリックして表示されるメニューから [漢字入力モード・漢字入力] を選択します。
※言語バーをお使いの場合は、言語バーの [半] をクリックして表示されるメニューから [漢字入力] を選択します。
元の入力モード（ローマ字入力またはカナ入力）に戻ります。
※ATOKスタイルの場合は、**変換** キーで漢字入力と半角入力を切り替えることもできます。

★ポイント 一時的にアルファベットを入力するモードに変える

Caps Lock キーを押すと、一時的にアルファベットを入力する英語入力モードになります。もう一度 **Caps Lock** キーを押すと、元のモードに戻ります。

※ローマ字入力では、**[Shift]**キーを押したまま文字キーを押すと、一時的に英語入力モードになります。文字を確定するか、もう一度 **[Shift]**キーを押すと、元のモードに戻ります。

また、英語入力モードにすると、自動的に英単語や英語の文例の推測候補が表示されます。

★ポイント 英単語・英文を効率よく入力する ▶ **ATOKヘルプキーワード** 英単語

難しい漢字を入力する

入力したい漢字の読みがわからないときや、候補ウィンドウに表示されない特殊な漢字を入力するときは、文字を手書きしたり、文字パレットを使って部首や画数から目的の漢字を探したりして入力します。

人名辞書を使って、難しい読みや漢字の名前に変換することもできます。

● 手書きで文字を入力する

▶ P.23 手書き文字入力

● 部首や画数から漢字を探して入力する

▶ P.22 漢字を検索する

● 辞書を利用して、難しい読みや漢字の名前に変換する

▶ P.24 人の名前を入力する - 人名辞書

JIS X 0208(第一・第二水準漢字)外の漢字を入力するプロパティ(環境設定)の[校正支援]シートの[環境依存文字]で、[JIS X 0208外の文字を含む候補の指摘・抑制]を[しない]または[指摘する]に設定します。

顔文字を入力する

(^_^;)などの顔文字は、読みを入力して変換するか、クリックパレットで顔文字の一覧から選択して入力します。

● 読みを入力して顔文字に変換する

▶ P.25 顔文字を入力する-記号辞書

● 顔文字の一覧から選択して入力する

▶ P.23 クリックパレット

外字を入力する

Windowsの外字エディターで作成した外字は、文字パレットの[記号・よく使う文字]シート- [外字] から入力します。

▶ P.22 文字パレット

▶ [ATOKヘルプキーワード] 外字

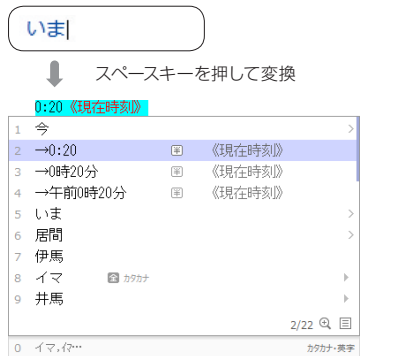
日付を入力する

● キーワードから変換して入力する

「今日(きょう)」・「月曜日(げつようび)」・「今(いま)」などのキーワードを入力して、日付や時刻に変換できます。

※変換候補として表示する日付や時刻の形式は、プロパティ(環境設定)で変更することができます。

▶ [ATOKヘルプキーワード] 日付の形式



● 日付入力パレットから入力する

▶ P.23 日付入力パレット

ほかにも現在の日時を入力しようとしたときに推測して表示したり、入力した日付を別の形式に変換したりするなど、日付入力のために便利な機能があります。

▶ [ATOKヘルプキーワード] 日付の入力

入力を補助するパレット

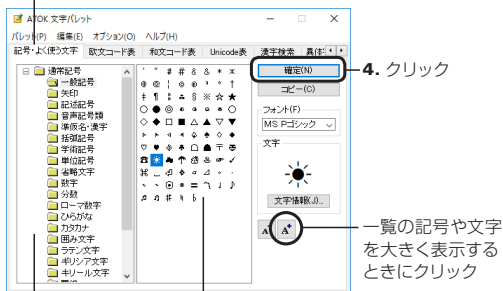
難しい漢字や記号などをスムーズに入力するために、いろいろなパレットを用意しています。

文字パレット

キーボードから入力しづらい記号や、通常の変換候補で探すことのできない漢字を入力することができます。[漢字検索]では部首や画数から漢字を探ことができ、部首の名前がわからなくても、一覧から選択することができます。タスクバーの[あ]を右クリックし、 [ATOKメニュー]をクリックして[基本のメニュー]を選択したあと、[文字パレット]を選択して起動します。▶P.13 ATOKメニューについて ▶[ATOKヘルプキーワード](#) 文字パレット

● 記号を入力する

1. [記号・よく使う文字] シートを選択



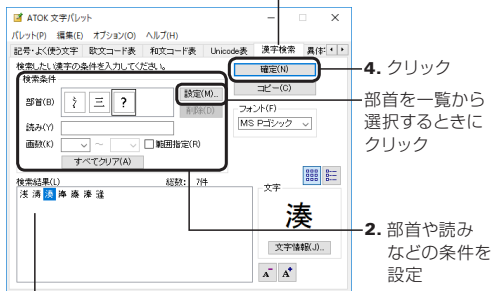
2. 種類を選択

3. 記号を選択

※上記の操作1.~4.を行うと、カーソル位置に記号を入力できます。

● 漢字を検索する

1. [漢字検索] シートを選択



3. 該当する漢字を選択

※上記の操作1.~4.を行うと、カーソル位置に記号を入力できます。

！ 注意 Windows ストアアプリ上には直接入力できません

をクリックし、アプリ上で貼り付けます。

★ポイント 文字パレットをいつも手前に表示する

文字パレットの[オプション-最前面表示]を選択し、[最前面表示]にチェックマーク()が付いた状態にします。文字パレットから文字を続けて入力する場合に便利です。


? 困った 特殊記号(Symbolフォントの記号)が正しく入力できない ▶[ATOKヘルプキーワード](#) Symbolフォントの記号

? 困った [検索結果]に「・」が表示される

お使いの環境に、文字を表示するのに必要なフォントがインストールされていません。正しく表示するには、Unicodeに対応したフォントをインストールする必要があります。文字パレットの[フォント]で、「MS P明朝」や「MS Pゴシック」などのMSフォントを選択するか、インストールしたUnicode対応フォントを選択します。

※「MS P明朝」や「MS Pゴシック」を選択していても、フォントがないところは「・」で表示されます。

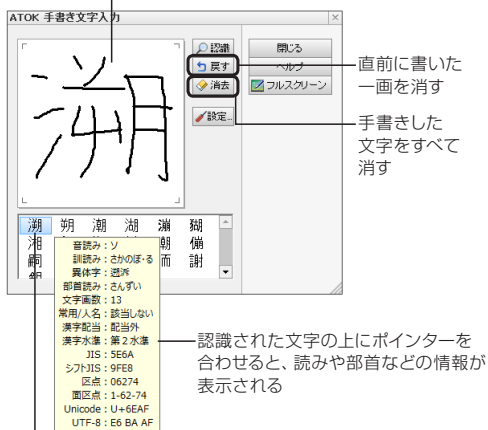
手書き文字入力

読み方のわからない漢字や記号は、マウスで手書きして入力します。タスクバーの [あ] を右クリックし、 [ATOKメニュー] をクリックして [基本のメニュー] を選択したあと、[手書き文字入力] を選択して起動します。

▶ P.13 ATOKメニューについて

▶ [ATOKヘルプキーワード] 手書き文字入力

1. 手書き枠にマウスで文字を書く



2. 該当する漢字をクリック

注意 文字を手書きするときは、次の点に注意します

- 楷書体で書く
- 文字の特徴を残すように書く
- 記号がうまく認識されない場合は、書き方を変えてみる

困った 入力したい文字が検索できない


手書き文字入力では認識できない文字は、文字パレットの漢字検索を利用してください。▶ P.22 文字パレット

困った [検索結果] に「・」が表示される

P.22 「**困った** [検索結果] に「・」が表示される」の対処方法を参考に、手書き文字入力の **設定** をクリックしてフォントを選択します。

クリックパレット

マウスだけでひらがな・カタカナ・英数・記号・日付・顔文字の入力や、変換・削除をすることができます。


タスクバーの [あ] を右クリックし、 [ATOKメニュー] をクリックして [基本のメニュー] を選択したあと、[クリックパレット] を選択して起動します。

▶ P.13 ATOKメニューについて

▶ [ATOKヘルプキーワード] クリックパレット


必要に応じてシートを切り替える



ボタンを押したままにしたとき連続入力しないようにする
画面右上の  [オプションメニュー表示] をクリックし、[ボタンを押したまま連続入力] を選択して、チェックマーク () が付かない状態にすると、クリックパレットのボタンを押したままにしたときも同じ文字が連続入力されず、1文字だけ入力されます。

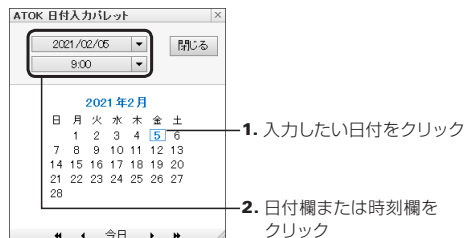
日付入力パレット

カレンダー上で日付を確認しながら、日付や現在の時刻をマウス操作で入力できます。

タスクバーの [あ] を右クリックし、 [ATOKメニュー] をクリックして [基本のメニュー] を選択したあと、[日付入力パレット] を選択して起動します。

▶ P.13 ATOKメニューについて

▶ [ATOKヘルプキーワード] 日付入力パレット



変換・確定に便利な機能

専門用語変換辞書

[F2]・[F3]・[F4]キーを押すと、専門用語変換辞書を使って、便利な変換ができます。

▶ [ATOKヘルプキーワード] 専門用語変換辞書

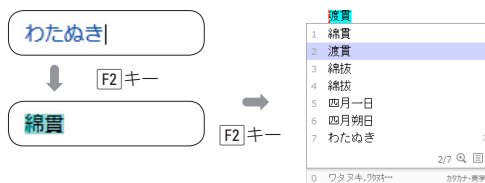
※ [F2]・[F4]キーに割り付けられている辞書は、スペースキーで変換したときも候補ウィンドウに表示されます。

※ タッチキーボードの場合は、候補の一覧に専門用語変換辞書の単語も表示されるので、目的の候補を選択して確定します。

▶ P.16 ★ポイント スペースキーで変換できる辞書セットを変更する

● 人の名前を入力する -人名辞書

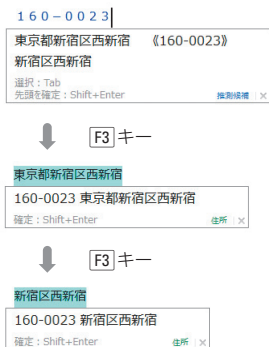
読みを入力し、[F2]キーを押します。



● 郵便番号から住所を入力する -郵便番号辞書

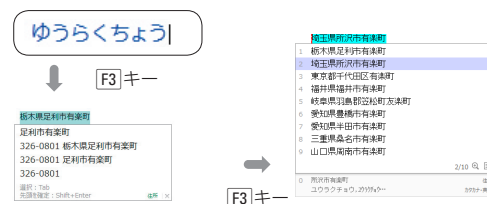
郵便番号を入力し、[F3]キーを押します。

郵便番号を7桁で入力するときは、3桁目を入力したあとに-(マイナス記号)を入力します。



● 町名から住所を入力する -町名住所変換辞書

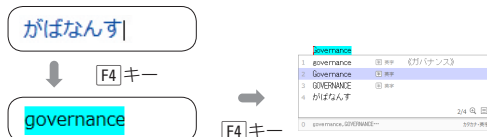
町名を入力し、[F3]キーを押します。



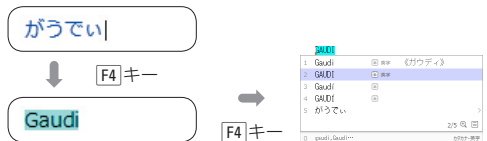
● つづりのわからない英単語を入力する

-カタカナ語英語辞書

英単語の読みを入力し、[F4]キーを押します。続けて[F4]キーを押すと、つづりの大文字/小文字が変わります。



符号付きのアルファベットを含む英単語も入力できます。

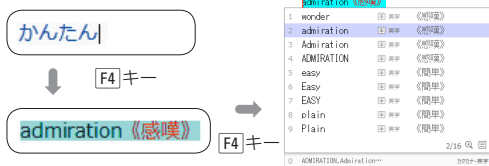


※入力したい文字が含まれていないフォントでは入力できません。

※Unicodeに対応していないアプリケーションには正しく入力できない場合があります。

※符号付きのアルファベットを含む英単語を入力するには、プロパティ（環境設定）の [校正支援] シートの [環境依存文字] で、 [JIS X 0208外の文字を含む候補の指摘・抑制] を [しない] または [指摘する] に設定します。

- **日本語の意味から英語を入力する - 日本語英語辞書**
英単語の日本語の意味を入力し、**[F4]** キーを押します。



英語入力モードのときは、英単語の日本語の意味をローマ字で入力すると、推測候補に英単語が表示されます。

1. **[Caps Lock 英数]** キーを押すか、タスクバーの [あ] を右クリックまたはタッチ長押しして表示されるメニューから [入力文字種 - 半角英字 / 全角英字] を選択して、英語入力モードに切り替えます。

※言語バーをお使いの場合は、言語バーの [あ] をクリックして表示されるメニューから [半角英字] または [全角英字] を選択します。

ローマ字入力の場合は、**[Shift]** キーを押しながら文字キーを押しても、英語入力モードに切り替わります。

2. 入力したい英単語の、日本語の意味をローマ字で入力します。



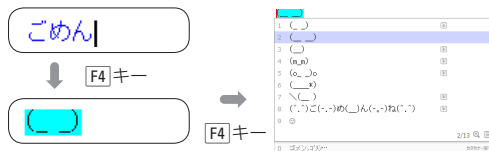
3. **[Tab]** キーまたは **[↑]** / **[↓]** キーを押して目的の英単語を選択します。

4. **[Enter]** キーで確定します。

- **顔文字を入力する - 記号辞書**

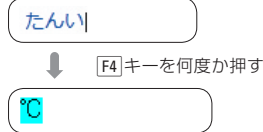
顔文字の読みを入力し、**[F4]** キーを押します。

▶ **[ATOKヘルプキーワード]** 顔文字の読み

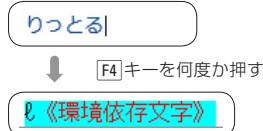


- **記号を入力する - 記号辞書**

記号の読みを入力し、**[F4]** キーを何度か押します。



Unicode固有の記号も入力できます。



※入力したい文字が含まれていないフォントでは入力できません。
※Unicodeに対応していないアプリケーションには正しく入力できない場合があります。

※プロパティ（環境設定）の [校正支援] シートの [環境依存文字] で、 [JIS X 0208外の文字を含む候補の指摘・抑制] を [しない] または [指摘する] に設定します。

不適切な表現・誤りを指摘する

文字入力・変換の段階で、不適切な表現・誤りを指摘できます。指摘や訂正をするかしないかは、プロパティ(環境設定)の[校正支援]シートの各項目で設定します。なお、指摘に気付かず確定した場合でも、見逃した指摘があることを通知するアイコンが表示されます。アイコンをクリックして、指摘内容を確認できます。

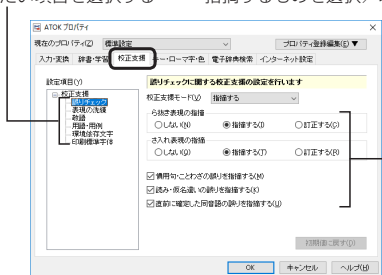
- ▶ P.33 使いやすい設定に変更する
- ▶ [ATOKヘルプキーワード] 校正支援

指摘・訂正のできる項目例

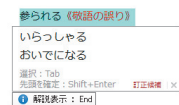
よく似た同音語	「内蔵」「内臓」など
くださった表現	急いでます/わかんない
使い方を誤りやすい表現	気が置けない/役不足
読み・仮名遣いの誤り	人間ドッグ → 人間ドック
慣用句・ことわざの誤り	火蓋が落とされる → 火蓋が切られる
助詞の連続	大急ぎ「で」タクシー「で」帰った

プロパティ

設定したい項目を選択する 指摘するものを選択/オンにする



指摘例

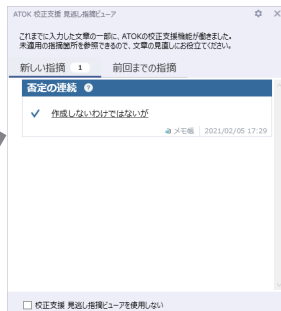


作成しないわけではないが

指摘を通知するアイコン

校正支援
見逃し指摘ビューア

指摘に気付かず、そのまま確定した場合



話し言葉や方言・文語表現で変換する

話し言葉や方言、文語表現で変換することができます。入力した内容に応じて、自動的に表現モードが切り替わります。手動で表現モードを切り替えたいときは、タスクバーの[あ]を右クリックまたはタッチ長押しして表示されるメニューから[表現モード]を選択します。

※言語バーをお使いの場合は、言語バーの[般](現在の入力方法によって表示は異なります)をクリックし、表現モードのメニューから目的のモードに切り替えます。

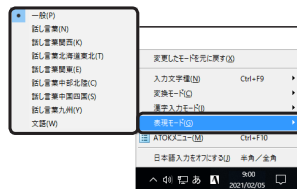
※タッチキーボードの場合は、表現モードの自動切り替えは行われません。

- ▶ [ATOKヘルプキーワード] 表現モード

表現例

話し言葉	食べるかい?/さむーっ
話し言葉関西	めっちゃ高いねん/そんなん聞いてへんで
話し言葉北海道東北	一緒に行がねが/待っててけろ
話し言葉関東	行くんべえ/青なじみができちった
話し言葉中部北陸	明日休みだもんで/がんばりまっし
話し言葉中国四国	食べてみんさい/どこ行っきょん
話し言葉九州	何ぼしよと/はよ起きらんね
文語	春過ぎて夏来にけらし白妙の

タスクバー



手動で切り替えるときは
変換したい表現を選択

変換例

話し言葉関西の場合

かいもんいかにん



スペースキーを押して変換

買いもん行かへん

よく使う単語や表現・フレーズを簡単に入力する

以前に入力した文字列やよく使うフレーズは、先頭の読みを入力すると自動的に表示されます。また、よく使う単語や文書を登録しておけば、効率よく文書を作成できます。連想変換辞書を利用して、別の言い回しや表現に変換することもできます。

入力しようとしている文字列を推測して表示する

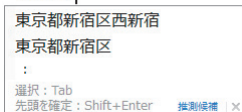
以前に入力した文字列は、先頭の読みを入力すると推測候補として自動的に表示されます。実際よりも少ない読みで目的の文字列を簡単に入力できます。

推測候補には、通常の変換候補と同じような一般的なことばやフレーズ、固有名や地名、慣用句や英単語・英文など、省入力データに登録されている文字列も表示されます。あらかじめ用意されている省入力データのほか、よく入力するフレーズを登録して使うこともできます。また、辞書に単語を登録するときに、同時に省入力データにも登録することができます。

▶ P.29 省入力データを使って簡単に入力する

●「東京都新宿区西新宿」と確定したあとで、もう一度同じ読みを入力

とうきよ|



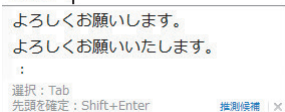
[Shift] + [Enter] キーで先頭の候補を確定

東京都新宿区西新宿|

●ほかの推測候補を表示する

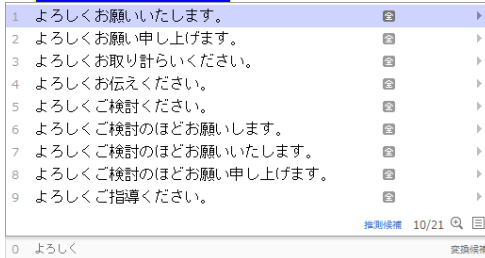
推測候補が表示された画面で [Tab] キーまたは [↓] キーを押すと、省入力データに登録されている文字列など、ほかの候補も表示されます。

よろしく|



↓ [Tab] / [↓] キーでほかの推測候補を表示

よろしくお願ひいたします。



推測候補から不要な候補を削除する

推測候補の一覧で、削除したい候補に反転カーソルを合わせ、[Ctrl] + [Delete] キーを押します。削除を確認するメッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。
※タッチキーボードの場合は、キー操作では削除できません。

少ない読みで推測候補を表示しない

- ① プロパティ (環境設定) を起動する
▶ P.33 使いやすい設定に変更する
- ② [入力・変換] シートの [設定項目] で [推測変換] を選択する
- ③ [推測候補の自動表示] で [自動表示] を [する] にする
- ④ [推測候補の自動表示] で [詳細設定] をクリックする
- ⑤ [表示開始文字数] に設定値よりも大きい数値を設定し、[OK] をクリックする
- ⑥ [OK] をクリックする


複数文節を入力中に推測候補を表示しないようにする

プロパティ (環境設定) の [入力・変換] シートの [推測変換] で、[複数文節からなる候補を追加する] をオフにします。

▶ P.33 使いやすい設定に変更する

省入力データを使って簡単に入力する

よく入力するフレーズは、先頭の読みを入力しただけで変換できるように、省入力データとして登録しておくことができます。

タスクバーの「あ」を右クリックし、 [ATOKメニュー] をクリックして [基本のメニュー] を選択したあと、[辞書メンテナンス-省入力データの編集] を選択すると、辞書ユーティリティが起動し、省入力データを編集することができます。

▶ P.13 ATOKメニューについて

▶ [ATOKヘルプキーワード] 省入力データ

あらかじめ用意されている省入力データを使って、慣用語や英単語・英文などに簡単に変換することもできます。

本製品で用意されている省入力データ

- ・省入力登録データ
- ・省入力ユーザーデータ
- ・標準省入力データ
- ・慣用表現データ
- ・英語省入力データ

省入力データを追加するには

- ① プロパティ (環境設定) を起動する
▶ P.33 使いやすい設定に変更する
- ② [入力・変換] シートの [設定項目] で [推測変換-省入力データ] を選択する
- ③ [追加・削除] をクリックし、表示された [省入力データの追加・削除] ダイアログボックスの [追加可能な省入力データの一覧] から追加したい省入力データを選択する
- ④ [追加] をクリックして、**OK** をクリックする
- ⑤ **OK** をクリックする

使用する省入力データを限定する

- ① プロパティ (環境設定) を起動する
▶ P.33 使いやすい設定に変更する
- ② [入力・変換] シートの [設定項目] で [推測変換-省入力データ] を選択する
- ③ [省入力データの内容] の一覧から、使用する省入力データだけをオンにする
- ④ **OK** をクリックする

別の言い回しや表現にする - 連想変換「類語ファインダー」 -

ことばを変換するとき、変換中のことばの表記から連想される類義語や言い換え表現などに変換できます。

ことばを入力して変換し、**Ctrl** + **Tab** キーを押して連想変換ウィンドウを表示します。

スペースキーまたは矢印キーで候補を選択し、**Enter** キーで確定します。

連想変換ウィンドウを閉じるには、**Esc** キーを押すか、連想変換ウィンドウ右上の [×] ボタンをクリックします。「お祝い」「お元気ですか」のようなことばから関連する英文に変換したり、「よろしくお願いします」のようなあいさつ文例を、よく似た文例に変換したりすることもできます。

▶ [ATOKヘルプキーワード] 連想変換

新しい 「あたらしい」と入力し、スペースキーを
[新しい]の連想変換: Ctrl+Tab 押して「新しい」に変換

↓ **Ctrl** + **Tab** キー



本製品で用意されている連想変換辞書

- ・標準連想変換辞書
- ・挨拶文例集
- ・文章表現辞典
- ・英文レター文例集


使用する連想変換辞書を限定したり、優先順位を変えたりする

▶ [ATOKヘルプキーワード] 連想変換辞書

ATOK 2014までと同じ表示方法にするには

- ① プロパティ (環境設定) を起動する
▶ P.33 使いやすい設定に変更する
- ② [入力・変換] シートの [設定項目] で [連想変換] を選択する
- ③ [候補ウィンドウで表示する] をオンにする
- ④ **OK** をクリックする

メール署名など、よく使う文書をお気に入り文書に登録して利用する


メール署名やビジネス文書で使う定型文など、よく使う文書は、「お気に入り文書」として登録しておく、メニューから選択するだけで入力できます。日付や時刻などを文書中に挿入するときなどにも便利です。初めて使う場合は、タスクバーの[あ]を右クリックし、 [ATOKメニュー] をクリックして [基本のメニュー] を選択したあと、[お気に入り文書] を選択し、[「お気に入り文書」を初めてお使いの方へ] を選択します。

▶ P.13 ATOKメニューについて

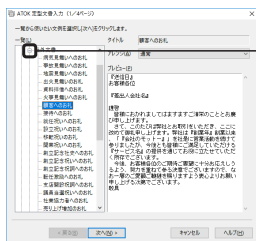
▶ [ATOKヘルプキーワード] お気に入り文書

文例集から選んで入力する 一定型文書入力

案内状やお礼状など、文例集の中から目的に合った文例を選んで入力できます。ビジネスやプライベートなど、用途に応じたさまざまな文例が用意されています。画面のメッセージに従って、文例を選んだり、日付や宛先などを入力したりしていただければ文書が簡単に作成できます。

タスクバーの[あ]を右クリックし、 [ATOKメニュー] をクリックして [基本のメニュー] を選択したあと、[定型文書入力] を選択します。▶ P.13 ATOKメニューについて

▶ [ATOKヘルプキーワード] 定型文書入力




一覧に表示されている [+] をクリックして [-] にすると、下の階層が表示される

よく使う単語を辞書に登録する

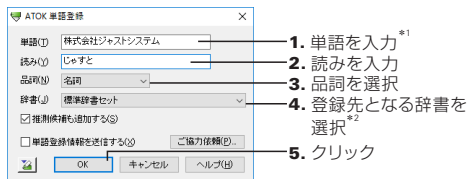
よく使う単語や変換できない単語は、辞書に登録しておく、と便利です。長い単語を短い読みで登録しておく、と入力の手間を省くことができます。

また、同時に省入力データにも登録でき、推測変換に利用できます。

▶ [ATOKヘルプキーワード] 単語登録

タスクバーの[あ]を右クリックし、 [ATOKメニュー] をクリックして [基本のメニュー] を選択したあと、[単語登録] を選択します。▶ P.13 ATOKメニューについて

[例] 「じゃすと」と入力してスペースキーを押すと、「株式会社ジャストシステム」と変換されるようにする



*1 文字列をコピーしている場合や範囲指定している場合は、その文字列が反映されます。

*2 スペースキーで変換できるようにするときは [標準辞書セット] を選択します。

登録できる単語と読み

● 単語

全角・半角を問わず100文字以内で入力します。

※サロゲートペアで表現される文字は2文字と数えます。

● 読み

全角・半角を問わず32文字以内で入力します。

※ただし、全角文字の場合、濁点・半濁点を含む文字は2文字と数えます。

全角のひらがな、全角・半角のカタカナ・アルファベット・数字・記号 (* - + * / _ # \$ % & = @ : ; ' ` ^ ~ < > ¥ ~) を使用できます。スペース・漢字・独仏文字・発音記号・特殊記号は使用できません。

読みの先頭に「ー」は使用できません。

登録した単語のバックアップをとる

登録した単語は、ユーザー辞書に書き込まれます。

バックアップをとるには、ユーザー辞書 (標準辞書セットの場合は、ATOK32U1.DIC) をCD-R/RWなどのメディアにコピーしておきます。

▶ P.48 ★ポイント ATOKの環境設定やユーザー辞書について

▶ P.35 ATOKの環境をバックアップする

登録した単語を削除する

削除したい単語を入力・変換し、**Ctrl** + **Delete** キーを押します。

※タッチキーボードの場合は、キー操作では削除できません。

電子辞典でことばの意味を確かめる

文章の閲覧中や文字の入力・変換中に、電子辞典を使ってことばの意味を確かめることができます。電子辞典に音声データが含まれる場合は、再生することもできます。▶[ATOKヘルプキーワード] 電子辞典検索

※この機能を使うには、次のような製品がインストールされている必要があります。

- ・「単漢字情報」電子辞典
- ・乗換案内 駅名変換辞書 for ATOK
- ・その他、ATOK連携電子辞典

※画面は「一太郎2021 ブラチナ」収録の「新明解国語辞典 for ATOK」を使用した例です。

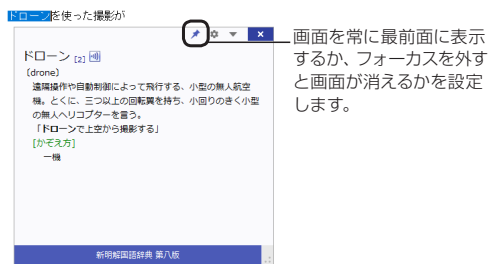
文章の閲覧中にことばの意味を調べる —ATOKイミクル—

「ATOKイミクル」を使用すると、閲覧中の文章にあることばの意味を調べられます。

1. 調べたいことばを範囲指定します。

2. [Ctrl] キーを2回押します。

ATOKイミクルが起動し、電子辞典の内容が表示されます。



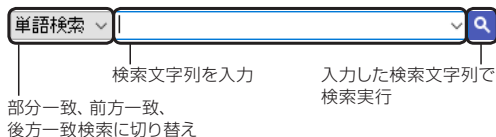
画面を常に最前面に表示するか、フォーカスを外すと画面が消えるかを設定します。

調べたいことばが複数の電子辞典に記載されている場合

該当する電子辞典がタブで表示されます。タブをクリックすると、電子辞典を切り替えられます。

検索方法を切り替えるには

右上の ▾ をクリックすると、入力欄などが表示されます。



文章の入力・変換中にことばの意味を調べる

● 日本語の意味を調べる

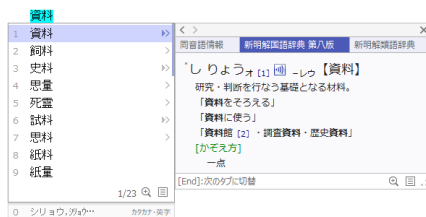
1. 調べたいことばを入力・変換します。

2. 確定する前の状態で、[End] キー*1 を押します。

情報ウィンドウに電子辞典の内容が表示されます。

*1 MS-IMEスタイルの場合は、[Ctrl] + [End] キーです。

キーボードによっては、[Fn] + [End] キーのように、ほかのキーと同時に押す必要があります。



検索したい単語が変換できない場合

ATOKの通常の操作では変換できないことばの場合、読みをひらがなで入力した状態から変換しないで検索します。



タッチキーボードの場合

候補の一覧で、調べたい候補を長押しして表示されるメニューから、「電子辞典検索」を選択します。

● 英単語の意味を調べる

1. Caps Lock キーを押すか、タスクバーの [あ] を右クリックまたはタッチ長押しして表示されるメニューから [入力文字種-半角英字/全角英字] を選択して、英語入力モードに切り替えます。

ローマ字入力の場合は、[Shift] キーを押したまま文字キーを押すと、英語入力モードに切り替わります。

※言語バーをお使いの場合は、言語バーの [あ] をクリックして表示されるメニューから [半角英字] または [全角英字] を選択します。

2. 調べたい単語を入力します。

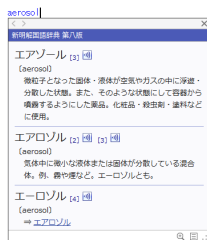
未確定の状態ではアルファベットが入力されます。

3. [End] キー*1 を2回押します。

情報ウィンドウに電子辞典の内容が表示されます。

※1 MS-IMEスタイルの場合は、[Ctrl]+[End] キーです。

キーボードによっては、[Fn]+[End] キーのように、ほかのキーと同時に押す必要があります。



● 単漢字情報を見る

文字パレットの [文字情報] をクリックして表示される文字情報が、電子辞典検索機能でも利用できます。「人名用漢字」に該当するかどうかや、「文字コード」などの情報も確認できます。

※「単漢字情報」電子辞典で検索できるのは、一文字の漢字だけです。

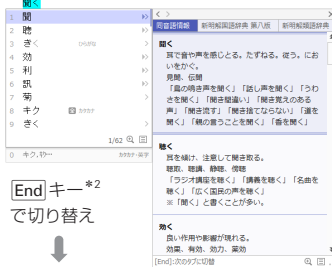


※別の電子辞典や同音語情報が表示されている場合は、右記の操作で「単漢字情報」電子辞典に切り替えます。

- ほかの電子辞典や同音語情報の表示に切り替える
電子辞典に掲載されている単語には、候補ウィンドウでは > が付いて表示されます。> の付いた単語に反転カーソルを合わせてしばらくすると、電子辞典の内容が自動的に表示されます。

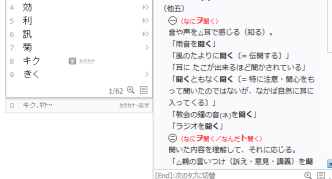
同音語情報と電子辞典の両方に説明がある単語には、>> が付いて表示されます。

別の電子辞典や同音語情報の表示に切り替えるには、切り替えたいタブをクリックするか、[End] キー*2 を押します。



[End] キー*2

で切り替え



- ※2 MS-IMEスタイルの場合は、[Ctrl]+[End] キーです。

キーボードによっては、[Fn]+[End] キーのように、ほかのキーと同時に押す必要があります。

? 困った [End] キーを押しても電子辞典検索ができない


スタートアップツールで [Windows 付属の日本語入力システム (Microsoft IME) 風のキー操作にする] を選択した場合は、MS-IMEスタイルのキーの設定になっているため、キーの割付が異なります。この場合は、[Ctrl]+[End] キーを押します。

また、ノートパソコンなど、お使いのキーボードによっては、ほかのキーと [End] キーが1つのキーになっている場合があります。例えば、[Fn]+[End] キーなど、お使いのキーボードのルールに従ってキーを押す必要があります。

設定のカスタマイズ

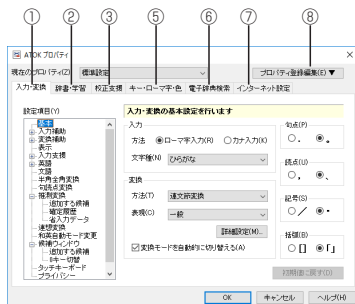
ATOKの操作環境を使いやすく調整するための機能を紹介します。

使いやすい設定に変更する

ATOKの操作環境や辞書・省入力データ・電子辞典の設定は、プロパティ(環境設定)で行います。設定する内容に応じて、各シートに切り替えて詳細を設定します。タスクバーの[あ]を右クリックし、 [ATOKメニュー] をクリックして [基本のメニュー] を選択したあと、[プロパティ(環境設定)] を選択して起動します。

▶ P.13 ATOKメニューについて

▶ [ATOKヘルプキーワード] プロパティ



① [入力・変換] シート

入力・変換などの操作環境について設定します。省入力データの設定や連想変換辞書の設定もここでを行います。

② [辞書・学習] シート

変換に使用する辞書と、変換結果を辞書に登録する学習について設定します。ユーザー辞書の設定もここで確認できます。

③ [校正支援] シート

誤りチェックなどに関する校正支援のモードを設定します。

④ [パレット] シート

ATOKパレットに登録されているボタンの内容や背景の色を設定します。

※ATOKパレットを表示している場合だけ表示されます。

▶ P.55 ★ポイント ATOKパレットを表示する

⑤ [キー・ローマ字・色] シート

キーの割付やローマ字とかなの対応規則、入力・変換時に表示される文字の色などを設定します。

⑥ [電子辞典検索] シート

電子辞典を検索するとき、使用する電子辞典を設定します。

⑦ [インターネット設定] シート

ATOKダイレクトやATOK Syncなどで利用するプロキシを設定します。

⑧ プロパティ登録編集

プロパティで設定した内容を記憶する環境設定を編集します。

※プロパティ関連付けツールからプロパティを起動している場合は、ボタンが **設定の変更** に変わります。

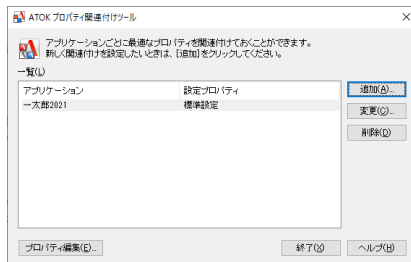
アプリケーション別に設定を切り替える

プロパティ関連付けツールを使うと、ATOKの入力・変換を環境設定として登録し、メール用・ワープロ用など、アプリケーションごとに入力・変換の設定が切り替わるように関連付けることができます。

※Windowsの [スタート] ボタンをクリックし、アプリ一覧から [ATOK-ATOKツールプロパティ関連付けツール] を選択します。

※Windows 8.1の場合は、アプリ一覧画面で [ATOKツール] をクリックし、[プロパティ関連付けツール] を選択して起動します。

▶ [ATOKヘルプキーワード] プロパティ関連付けツール




辞書・データのメンテナンス

変換に使用する辞書や省入力データは、編集することができます。
また、旧バージョンから引き継いだり、バックアップしたりすることもできます。

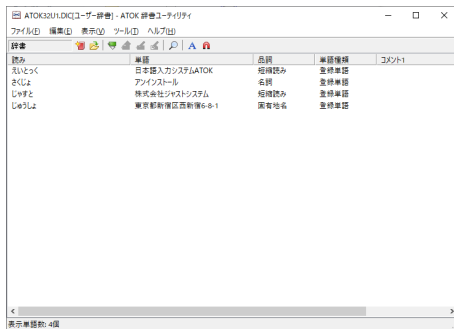
辞書をメンテナンスする

辞書ユーティリティを使うと、単語や用例の登録・削除など、辞書をメンテナンスしたり、旧バージョンや、他社の日本語入力システムに登録していた単語を、ATOKの辞書に追加したりすることができます。また、よく入力するフレーズを、先頭の読みを入力しただけで変換できるように省入力データとして登録したり、確定履歴を削除したりすることができます。

タスクバーの[あ]を右クリックし、 [ATOKメニュー]をクリックして[基本のメニュー]を選択したあと、[辞書メンテナンス-辞書ユーティリティ]または[辞書メンテナンス-省入力データの編集]を選択して起動します。

▶ P.13 ATOKメニューについて


▶ [ATOKヘルプキーワード] 辞書ユーティリティ



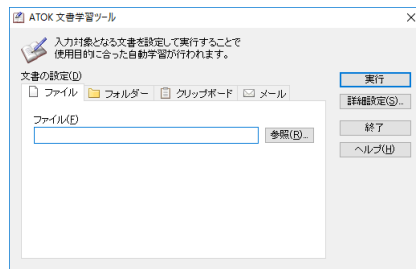
文書やRSS、Atomから自動で単語を登録する

文書学習ツールを使うと、文書やメールなどから辞書に登録されていない単語を自動的に抜き出し、辞書や省入力データに登録することができます。


入力する機会の多いことば(単語)が含まれた専門分野の文書などから単語を抽出することで、使用目的に合った情報が辞書や省入力データに学習されます。

文書学習ツールは、タスクバーの[あ]を右クリックし、 [ATOKメニュー]をクリックして[基本のメニュー]を選択したあと、[辞書メンテナンス-文書学習ツール]を選択して起動します。▶ P.13 ATOKメニューについて
エクスプローラーで学習したいファイルやフォルダーを選択し、右クリックして表示されるメニューから[ATOKで学習する]を選択し、学習を実行することもできます。

▶ [ATOKヘルプキーワード] 文書学習ツール



また、指定したRSS、Atom*1の内容を定期的に学習することもできます。

タスクバーの[あ]を右クリックし、 [ATOKメニュー]をクリックして[基本のメニュー]を選択したあと、[辞書メンテナンス-推測候補定期学習設定]を選択して行います。▶ P.13 ATOKメニューについて

▶ [ATOKヘルプキーワード] 推測候補定期学習

*1 RSS、Atomは、ニュースやブログなどWebサイトの更新情報をまとめて配信するための文書フォーマットです。

★ポイント 省入力データをコンバートする


ATOK 2012以前で作成した省入力データを使用するにはコンバートが必要です。

コンバート方法は、ヘルプを参照してください。

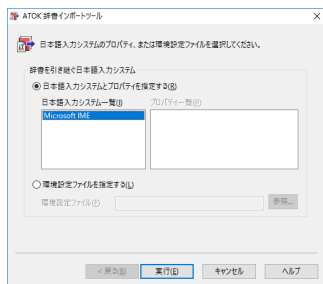
▶ [ATOKヘルプキーワード] 3.0形式

旧バージョンのATOKや、Microsoft IMEで登録した単語を利用する

辞書インポートツールを使うと、旧バージョンのATOK (ATOK 2007以降) で使用していた辞書や、旧バージョンのATOKやMicrosoft IMEで登録した単語を、新しいバージョンのATOKで使えるようになります。

タスクバーの[あ]を右クリックし、 [ATOKメニュー] をクリックして [基本のメニュー] を選択したあと、[辞書メンテナンス-辞書インポートツール] を選択して起動します。▶P.13 ATOKメニューについて

▶[ATOKヘルプキーワード] 辞書インポートツール



ATOKの環境をバックアップする

バックアップツールを使うと、登録した単語や省入力データ、作成したお気に入り文書など、ATOKの環境をバックアップしたり、復元したりすることができます。

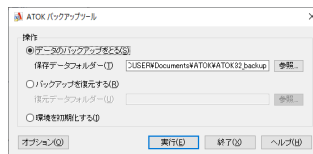
ATOKの環境をインストールしたときの状態に戻すこともできます。

▶[ATOKヘルプキーワード] バックアップツール

1. Windowsの [スタート] ボタンをクリックし、アプリ一覧から [ATOK-ATOKツール-バックアップツール] を選択します。

※Windows 8.1の場合は、アプリ一覧画面で [ATOKツール] をクリックまたはタップし、[バックアップツール] を選択します。[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、**はい** をクリックします。バックアップツールが起動します。

2. [データのバックアップをとる] を選択します。



3. **オプション** をクリックし、保存するデータを選択して **OK** をクリックします。

ATOKにあとから設定した辞書・辞典、追加・変更したデータなど、すべて保存する場合は [すべて]、ユーザー辞書や学習情報だけ保存する場合は [学習情報のみ] を選択します。

4. **実行** をクリックします。

5. 保存を確認するメッセージが表示されるので、**はい** をクリックします。

6. 保存が完了したら、**閉じる** をクリックします。

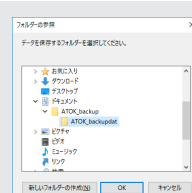
7. **終了** をクリックして、バックアップツールを終了します。

バックアップしたデータを復元するときは、操作**2.**で [バックアップを復元する] を選択して操作を進めます。

★ポイント バックアップしたデータを保存するフォルダを変更する・作成する

操作**2.**のあと **参照** をクリックし、[フォルダーの参照] ダイアログボックスでバックアップしたデータを保存するフォルダを選択します。

[フォルダーの参照] ダイアログボックスで **新しいフォルダーの作成** をクリックすると、バックアップしたデータを保存するフォルダを作成することができます。



辞書・登録単語に関するよくある質問

ヘルプキーワード ▶ 辞書の引き継ぎ・編集

Q. 同じパソコンにある旧バージョンのATOKやWindows付属の日本語入力システムに登録した単語を利用したい

A. スタートアップツールを使って、旧バージョンのATOKやWindows付属の日本語入力システム(Microsoft IME)に登録している単語をATOKの辞書に追加できます。

▶ P.46 ATOKの環境を設定する

Q. 変換時に「辞書として扱えません」「辞書ファイルが見つかりません」などのメッセージが表示される

A. 辞書ファイルのドライブ・フォルダー・ファイルを設定しなおします。詳しくはヘルプを参照してください。

▶ [ATOKヘルプキーワード] メッセージ

Q. 旧バージョンのATOKで登録した単語(ユーザー辞書)を別のパソコンで利用したい

A. ATOKをインストールしたパソコンに旧バージョンのユーザー辞書をコピーし、辞書ユーティリティを使って辞書合併を行います。

※登録した単語の並び順など、学習した情報は引き継がれません。

1 辞書ファイルをコピーする


USBメモリやメモリーカードなどのメディアを使って、ユーザー辞書*1を移行先のパソコンにコピーします。

*1 ユーザー辞書のファイル名や保存場所については、旧バージョンのATOKのマニュアルやヘルプで確認してください。

★ポイント よくある質問と回答の最新情報

サポート情報サイトで最新情報を見ることができます。
<https://support.justsystems.com/>

2 辞書を合併する

1. 移行先のパソコンで、タスクバーの[あ]を右クリックし、 [ATOKメニュー]をクリックして[基本のメニュー]を選択したあと、[辞書メンテナンス-辞書ユーティリティ]を選択します。

▶ P.13 ATOKメニューについて

基本辞書セットのユーザー辞書(通常はATOK32U1.DIC)の内容が表示されます。

※通常は、使用中のユーザー辞書(ATOK32U1.DIC)に登録します。別の辞書に登録したい場合は、登録したい辞書を開きます。


2. [ツール-辞書の合併]を選択し、[辞書合併]シートを選択します。

3. [読み出し辞書]の参照をクリックして、操作 1 でコピーした辞書ファイルを指定します。

4. 実行をクリックします。
[辞書合併]ダイアログボックスが表示され、単語の登録が開始されます。

5. 「終了しました。」と表示されたら、閉じるをクリックして[辞書合併]シートに戻ります。

6. 閉じるをクリックします。

7. 画面右上の をクリックして、辞書ユーティリティを終了します。

Q. ATOKで登録した単語や設定を別のパソコンで利用したい

A. 辞書に登録した単語やキーカスタマイズなどの設定、お気に入り文書などのデータや、ATOKをインストールしたあとで追加した辞書・辞典は、バックアップツールを利用してバックアップし、別のパソコンで復元すると、そのまま使用することができます。

1 ATOKの辞書や設定を[すべて]でバックアップする

▶ P.35 ATOKの環境をバックアップする

2 移行先のパソコンにバックアップしたデータをコピーする

1. 操作 1 で作成したフォルダーを、移行先のパソコンにコピーします。

3 ATOKの辞書や設定のバックアップを復元する

1. 管理者アカウントのユーザーでサインイン(ログオン)します。
2. 起動しているアプリケーションをすべて終了します。
3. ATOK以外の言語に通常使用する言語(日本語入力システム)を切り替えて、Windowsを再起動します。
※Microsoft IMEなどATOK以外の言語に設定してください。
4. Windowsの [スタート] ボタンをクリックし、アプリ一覧から [ATOK-ATOKツール-バックアップツール] を選択します。
※Windows 8.1の場合は、アプリ一覧画面で [ATOKツール] をクリックまたはタップし、[バックアップツール] を選択します。
※ [ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。
5. [バックアップを復元する] を選択します。
6. **参照** をクリックし、操作 **2** でコピーしたフォルダーを指定して、**OK** をクリックします。
▶ **P.48** ★ポイント ATOKの環境設定やユーザー辞書について
7. **実行** をクリックします
8. 「復元前のATOKの設定や辞書の内容は上書きされます。よろしいですか?」と表示されたら、**はい** をクリックします。
9. 「復元が完了しました。」と表示されたら、**閉じる** をクリックします。
10. 「復元が完了しました。既定の言語をATOKに切り替えますか?」と表示されたら、**はい** をクリックします。
11. **終了** をクリックして、バックアップツールを終了します。
※操作**9**で「復元が完了しました。Windowsを再起動してください。今すぐ再起動しますか?」と表示された場合は、**はい** をクリックして、Windowsを再起動してください。

Q.

ATOK連携電子辞書を別ドライブにインストールしたい

A.

ATOK連携電子辞書を初期設定以外の場所にインストールしたい場合は、ファイルを手動でコピーし、設定を行います。詳しくはヘルプを参照してください。

▶ **ATOKヘルプキーワード** プレミアム辞書・辞典

Q.

旧バージョンで使っていた変換辞書・電子辞典・省入力データを使用したい

A.

● 同じパソコンで使う場合

旧バージョンのATOKで辞書・辞典・省入力データを使用していたパソコンに、ATOKをインストールした場合は、Windowsを再起動したあとに自動的に表示されるスタートアップツールを実行することで設定することができます。

正しく設定されているかどうかは、P.60の操作方法で確認してください。

● 別のパソコンで使う場合

・ 2008年以降に発売された製品

(「ATOK 2017 for Windows [プレミアム]」や「広辞苑 第六版 for ATOK」など)

ディスクからそのままインストールできます。

正しく設定されているかどうかは、P.60の操作方法で確認してください。

・ 2007年以前に発売された製品

各製品に含まれるデータを各マニュアルまたはサポート情報サイトで確認して、手動で設定を行ってください。

<https://support.justsystems.com/>

※「明鏡国語辞典・ジーニアス英和/和英辞典/R.2/R.3/R.4 for ATOK」と「広辞苑 第五版 for ATOK」に含まれる電子辞典はディスクからそのままインストールできます。

★ポイント 辞書・省入力データ・連想変換辞書をコピーする場所

次のフォルダーにコピーします。

※?には、Windowsの存在するドライブ名が入ります。

?:\Program Files (x86)*1\JustSystems*2\ATOK\DIC

*1 Program Filesの場合もあります。

*2 Justsystemの場合もあります。

変換辞書を別のパソコンで使う

1 辞書をコピーする

- CD(DVD)ドライブに、移行したい製品のディスクを入れます。
- ディスク内から、旧バージョンのATOKで使っていた辞書ファイル(拡張子が「.DIC」のファイル)を探して、適当な場所にコピーします。
※辞書ファイル名は、ATOKプロパティの「辞書・学習」シートで、お使いの辞書を選択すると確認できます。
※拡張子が表示されていない場合は、ヘルプを参照してください。
▶[ATOKヘルプキーワード] 拡張子
※ATOK 2007以降で使っていた辞書の場合は、P.37「★ポイント 辞書・省入力データ・連想変換辞書をコピーする場所」のフォルダーにコピーします。

2 辞書をコンバートする

※ATOK 2007以降で使っていた辞書の場合は、コンバートする必要はありません。操作 3へ進みます。

- タスクバーの「あ」を右クリックし、[ATOKメニュー]をクリックして「基本のメニュー」を選択したあと、「辞書メンテナンス-辞書ユーティリティ」を選択します。
▶P.13 ATOKメニューについて
- 「ファイル-辞書コンバート」を選択します。
- 「変換元辞書」の「参照」をクリックし、操作 1でコピーした専門用語変換辞書のファイルを選択します。
- 「変換先辞書」に変換先辞書ファイル名をドライブ名・フォルダー名から入力します。
参照 をクリックすると、フォルダーなどをクリックして選択できます。
※ファイル名は変更せず、ドライブ名・フォルダー名を、P.37「★ポイント 辞書・省入力データ・連想変換辞書をコピーする場所」のフォルダーに変更してください。
- OK をクリックします。
変換元辞書をもとに、ATOKの辞書が新しく作成されます。
- 「終了しました。」と表示されたら、「閉じる」をクリックします。
- 画面右上の「×」をクリックして、辞書ユーティリティを終了します。

3 辞書を設定する

※1つの辞書セットに設定できる辞書の数は20個までです。

- タスクバーの「あ」を右クリックし、[ATOKメニュー]をクリックして「基本のメニュー」を選択したあと、「プロパティ(環境設定)」を選択します。
▶P.13 ATOKメニューについて

- 「辞書・学習」シートを選択します。
- 左側の「辞書セット一覧」から辞書を設定したい辞書セットを選択します。
- 「辞書の追加・削除」をクリックします。
- 「追加可能な辞書の一覧」から、追加したい辞書を選択し、「追加」をクリックします。
追加したい辞書が表示されていない場合は、「ファイルを指定して追加」をクリックして、追加します。
- 「辞書セットの内容」に追加した辞書が表示されていることを確認し、「OK」をクリックします。
「辞書・学習」シートに戻ります。
- OK をクリックして、ATOK プロパティを終了します。

電子辞典を別のパソコンで使う

1 電子辞典をコピーする

- CD(DVD)ドライブに、移行したい製品のディスクを入れます。
- ディスク内にある拡張子が「.DRT」「.DRW」のファイルを探して、次のフォルダーにコピーします。
※拡張子が表示されていない場合は、ヘルプを参照してください。
▶[ATOKヘルプキーワード] 拡張子
※?には、Windowsの存在するドライブ名が入ります。
?:?Program Files (x86)*1?JustSystems*2?ATOK?DRT
*1 Program Filesの場合もあります。
*2 Justsystemの場合もあります。

2 電子辞典を設定する

- タスクバーの「あ」を右クリックし、[ATOKメニュー]をクリックして「基本のメニュー」を選択したあと、「プロパティ(環境設定)」を選択します。
▶P.13 ATOKメニューについて
- 「電子辞典検索」シートを選択します。
- 「電子辞典を検索する」がオンになっていることを確認します。
※オフになっている場合は、クリックしてオンにします。
- 「辞典の追加・削除」をクリックして使いたい辞典を追加します。
- 「日本語辞典」もしくは「英語辞典」に使いたい電子辞典が表示されてオンになっているか確認します。
- OK をクリックして、ATOK プロパティを終了します。

省入力データを別のパソコンで使う

1 省入力データをコピーする

1. CD(DVD)ドライブに、移行したい製品のディスクを入れます。
2. ディスク内にある拡張子が「.DAR」のファイルを探して、P.37「★ポイント」辞書・省入力データ・連想変換辞書をコピーする場所」のフォルダーにコピーします。
※拡張子が表示されていない場合は、ヘルプを参照してください。
▶[ATOKヘルプキーワード] 拡張子

2 省入力データをコンバートする

コンバート方法はヘルプを参照してください。

▶[ATOKヘルプキーワード] 3.0形式

3 省入力データを設定する

※設定できる省入力データの数は30個までです。

1. タスクバーの[あ]を右クリックし、[ATOKメニュー]をクリックして[基本のメニュー]を選択したあと、[プロパティ(環境設定)]を選択します。
▶P.13 ATOKメニューについて
2. [入力・変換]シートを選択します。
3. 左側の[設定項目]で[推測変換]の[省入力データ]を選択します。
4. [省入力データを使用する]がオンになっていることを確認します。
※オフになっている場合は、クリックしてオンにします。
5. [追加・削除]をクリックして使いたい省入力データを追加します。
6. [省入力データの内容]に使いたい省入力データが表示されてオンになっているか確認します。
7. [OK]をクリックして、ATOK プロパティを終了します。

Q. 旧バージョンで使っていた角川類語新辞典 for ATOK(連想変換辞書)を使用したい

A.

● 同じパソコンで使う場合

旧バージョンのATOKで角川類語新辞典を使用していたパソコンに最新のATOKをインストールした場合は、Windowsを再起動したあとに自動的に表示されるスタートアップツールを実行することで設定することができます。

▶P.46 ATOKの環境を設定する

最新のATOKに設定できているかどうか確認します。

1. タスクバーの[あ]を右クリックし、[ATOKメニュー]をクリックして[基本のメニュー]を選択したあと、[プロパティ(環境設定)]を選択します。
▶P.13 ATOKメニューについて
2. [入力・変換]シートを選択します。
3. 左側の[設定項目]で[連想変換]を選択します。
4. [連想変換を有効にする]がオフの場合はクリックして、オンにします。
5. [連想変換辞書の内容]に[角川類語新辞典]が表示されオンのになっていることを確認します。
オフの場合はクリックして、オンにします。
※表示されていない場合は、[追加・削除]をクリックして[角川類語新辞典]を追加します。
6. [OK]をクリックして、ATOK プロパティを終了します。

● 別のパソコンで使う場合

別のパソコンで角川類語新辞典を使いたい場合は、手動で設定します。

1 連想変換辞書をコピーする

1. CD(DVD)ドライブに、角川類語新辞典 for ATOKのディスクを入れます。
2. ディスク内にある「KADOKAWA_RUIGO.DSY」を探して、P.37「★ポイント」辞書・省入力データ・連想変換辞書をコピーする場所」のフォルダーにコピーします。
※拡張子が表示されていない場合は、ヘルプを参照してください。
▶[ATOKヘルプキーワード] 拡張子

2 角川類語新辞典を設定する

1. 左記「● 同じパソコンで使う場合」の操作5で[追加・削除]をクリックします。
[連想変換辞書の追加・削除]ダイアログボックスが表示されます。
2. [追加可能な連想変換辞書の一覧]で[角川類語新辞典]を選択して、[追加]をクリックします。
[連想変換辞書の内容]に[角川類語新辞典]が移動します。
3. [OK]をクリックします。
[ATOK プロパティ]ダイアログボックスに戻ります。
4. [連想変換辞書の内容]に[角川類語新辞典]が追加され、オンになっていることを確認します。
5. [OK]をクリックして、ATOK プロパティを終了します。

ATOK Passportで使えるATOK for Windowsのインストールとサービスの設定

ATOK Passportは、デバイスを超えて最新のATOKを利用できる定額制の日本語入力サービスです。Windowsのほか、Androidのスマートフォンやタブレット、Macでも最新のATOKを最大10台まで利用でき、デバイス間で登録単語を共有できます。

ATOK Passport限定のATOKクラウドサービスでは、オンラインの電子辞典と連携や、オンライン文章校正などが利用できます。

5
補
足

◆インストールとサービスの設定の手順

ATOK Passportで使えるATOK for Windowsは、次の手順でインストールし、サービスの設定を行います。

- ▶ シリアルナンバー・オンライン登録キー・User IDの確認 P.41
- ▶ 旧バージョンのATOKをお持ちの場合 P.42

- ▶ プログラムをダウンロードする P.43
- ▶ ATOK for Windowsをインストールする P.44
- ▶ ATOKの環境を設定する P.46
- ▶ ATOKを有効化する P.49
- ▶ 再起動する P.51
- ▶ ATOKクラウドサービスの初期設定をする P.52
- ▶ ATOK My Passportの設定をする P.53

- ▶ ATOKがインストールできたかどうか確認する P.55
- ▶ ATOKクラウドサービスの使用方法を確認する P.56
- ▶ ATOK My Passportページの表示を確認する P.58

◆シリアルナンバー・オンライン登録キー・User IDの確認

ATOKの有効化やインストールを行うときに、シリアルナンバーやオンライン登録キー、ジャストシステムのUser IDを入力する画面が表示されます。

下の表で記載場所や桁数を確認して入力してください。

確認項目	記載場所	桁数	対応方法
シリアルナンバー	● ATOK Passportをご契約中の場合は、ご購入手続き完了後に@atok.com または @justmyshop.comからお送りしたメールにシリアルナンバーとオンライン登録キーが記載されています。 ● 一太郎に搭載されたATOKをご利用の場合は、J-Sheet(ユーザー登録シート)の「お客様控え」に記載されています。 ※製品にユーザー登録完了のお知らせが添付されている場合は、そのお知らせの「お客様控え」に記載されています。	18桁	・ ATOK Passportの場合は、有効化に必要です。 ・ 一太郎に搭載されたATOKの場合は、インストールに必要です。
オンライン登録キー		5桁	
User ID		10桁	今までにジャストシステム製品のユーザー登録をしたことがあり、User IDをお持ちの方は、入力してください。

※有効化やインストール時に入力したシリアルナンバー・オンライン登録キーは、ライセンス認証*1のためジャストシステムに送信されます。

*1 ライセンス認証には、認証解除の処理は伴いません。例えば、製品のアンインストール、パソコンの取り替え、パソコンのリカバリーなどを行う前に、認証解除の操作は必要ありません。次に製品をインストールしたときに、あらためてライセンス認証が行われます。

！ 注意 オンライン登録キーを入力するときの注意事項

オンライン登録キーは、大文字の英字と、数字との組み合わせです。

大文字の英字(アルファベット)と数字には、例えば下記のように、似ていて見まちがえやすい文字があります。

- アルファベット「O」(オー)と、数字「0」(ゼロ)
- アルファベット「I」(アイ)と、数字「1」(イチ)
- アルファベット「Z」(ゼット)と、数字「2」(ニ)
- アルファベット「S」(エス)と、数字「5」(ゴ)
- アルファベット「B」(ビー)と、数字「8」(ハチ)
- アルファベット「U」(ユー)と「V」(ブイ)など

英数字をよく確認して入力してください。

◆旧バージョンのATOKをお持ちの場合

旧バージョンのATOKの削除

- ATOK Passportの契約で動作するATOKは、1つのパソコン内に1バージョンのみです。本製品をインストールすると、旧バージョンは削除されます。
- 「一太郎」に搭載のATOKも、本製品をインストールすると削除対象のバージョンのATOKは削除されます。
 - ▶ P.45 旧バージョンのATOKの削除について
 - ▶ P.61 ★ポイント 旧バージョンのATOKを削除する

旧バージョンのATOKを削除しても、別に購入した専門用語変換辞書やATOK連携電子辞典、旧バージョンで登録した単語(ユーザー辞書)は削除されず、スタートアップツールで最新のATOKに引き継いで使用できます。

▶ P.46 ATOKの環境を設定する

旧バージョンからの引き継ぎ

- ATOK Passport、一太郎に搭載のATOKとも、旧バージョンからの引き継ぎができます。
- 旧バージョンの辞書や登録単語、入力・変換の設定などは、スタートアップツールを利用して最新のATOKで使えるようにします。
スタートアップツールは、初めて最新のATOKが使える状態になったときに自動的に起動します。画面の説明に従って操作を進めるだけで、旧バージョンのATOKの辞書や登録単語、入力・変換の設定などを引き継げます。

※ATOK(Tech Ver.31)、ATOK 2017~2007が対象です。

すべての辞書セットに設定されている辞書と各ユーザー辞書を最新のATOKで使える辞書にコンバートし、最新のATOKの各辞書セットに追加、またはユーザー辞書として設定します。

引き継ぎ対象

- ・専門用語変換辞書(一部の辞書を除きます)
 - ・省入力データ・連想変換辞書・定型文書
- ※ATOK連携電子辞典は、最新のATOKでもそのまま利用することができます。

▶ P.36 辞書・登録単語に関するよくある質問

Office連携ツールをご利用の方へ

本製品にはOffice連携ツールは搭載されていません。

VoiceATOKをご利用の方へ

ATOK 2010を削除すると、Voiceエクステンションも同時に削除されます。対応している音声認識ソフトや環境をご確認のうえ、最新のATOKの音声入力機能をご利用ください。

記号入力モード(**F10**キー)の利用

ATOKの初期設定では、記号入力モード(**F10**キー)は利用できません。プロパティ(環境設定)の[入力・変換]シートの[入力補助-特殊]で[記号入力モードを使用する]をオンにします。

▶ P.33 使いやすい設定に変更する

旧バージョンのATOKからの変更点や、辞書などのデータの引き継ぎについて、詳しくはヘルプをご覧ください。

▶ **[ATOKヘルプキーワード]** 変更機能

注意 初期状態では、ATOKパレットは表示されません

スタートアップツールを実行してもATOKパレットの設定は引き継がれません。

▶ P.55 ★ポイント ATOKパレットを表示する

※ATOKパレットを表示すると、Windows ストアアプリ上でATOKを利用できなくなります。また、Windows 10の場合は、タスクバーでの検索でATOKを利用できなくなります。ATOKの状態の確認は、「言語バーを表示する」方法で行ってください。

▶ P.10 ★ポイント Windowsの言語バーを表示する

◆プログラムをダウンロードする

1 ATOK Passportで使えるATOK for Windowsをダウンロードする

1. ATOK for Windowsをダウンロードします。

ダウンロードを行うには次のような手段があります。

- ATOK Passportを契約したときに送られるメールに記載されたURLから
- ATOK My Passportページから
 - ▶ P.58 ATOK My Passportページの表示を確認する
- ATOK.comから
無償試用版をダウンロードして使うこともできます。
<https://atok.com/try/>

◆ATOK for Windowsをインストールする

1 インストールを始める準備をする

1. パソコンを再起動します。
2. 管理者アカウントのユーザーでサインインします。

管理者アカウントとは

Windowsのすべての機能が使えるユーザーのことです。アカウントの種類を確認するときは、コントロールパネルの「ユーザーアカウント」*1を選択します。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

*1 お使いのOSによっては項目が異なる場合があります。

3. 自動的に起動したアプリケーションがあれば、すべて終了します。

2 インストールプログラムを起動する

1. ダウンロードしたファイルをダブルクリックし、解凍先を指定します。

自動的に解凍が始まります。

※ [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、**はい** をクリックします。

管理者アカウント以外でログオンしている場合は、パスワードを入力し、**はい** または **OK** をクリックします。必要に応じて、ユーザー名やメールアドレスを入力します。

2. 解凍が完了したら、**OK** をクリックします。

インストールを始める画面が表示されます。

※インストールを始める画面が表示されていない場合は、解凍先として指定したフォルダー内の「AUTOPLAY.EXE」をダブルクリックします。

3. **ATOK for Windows のインストール** をクリックします。



[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、P.45の操作**4.**に進みます。

インストールプログラムが起動した場合は、操作**3**に進みます。

つづく

? 困った 「ATOKは、お使いのOSには対応していません。」と表示されてインストールできない

Windows 7に本製品をインストールすることはできません。

? 困った 「ATOKの別の種類の製品が、既にインストールされています。」と表示されてインストールできない

次のような原因が考えられます。

- ・「一太郎」に搭載のATOKを使用している環境に、ATOK PassportのATOKをインストールしようとした
- ・ATOK PassportのATOKを使用している環境に、「一太郎」に搭載のATOKをインストールしようとした

OK をクリックすると、インストールを中断します。インストール済みのATOKを引き続き使用できます。

▶ P.59 辞書・辞典をインストールする

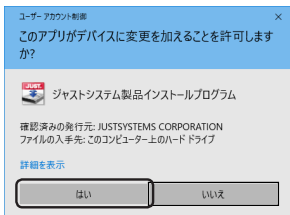
※インストール中のATOKを使用したい場合は、先にインストール済みのATOKを削除してから、ATOKをインストールします。ユーザー辞書はインストールしたATOKに引き継いで使用できます。

▶ P.61 ATOKを削除(アンインストール)する

インストールを始める画面には次のボタンが並んでいます。

- **ATOK Passportをご契約されている方へ**
ATOKのインストールと環境設定の説明を起動します。
 - **30日間 無償試用版としてお試しになる方へ**
ATOKのインストールと無償試用の説明を起動します。
- ※次のツールは **ATOK for Windowsのインストール** を実行するとインストールされます。
- ・ ATOK Sync アドバンス

4. はい をクリックします。



※お使いの環境により、表示される画面が異なる場合があります。
インストールプログラムが起動します。

※「ATOKの別の種類の製品が、既にインストールされています。」と表示された場合は、「P.44 **？困った**」をご覧ください。

※インストールは中止しないで、できるだけ最後まで進めてください。

3 使用許諾契約を確認する

1. 使用許諾契約書をよく読んで、 **同意する** をクリックします。

4 インストールを開始する

※インストールするドライブやフォルダーを変更することはできません。

インストールを開始します。

1. **インストール開始** をクリックします。

旧バージョンの ATOK の削除について

本製品のATOKは、旧バージョンのATOKとは共存しません。削除の対象となる旧バージョンのATOKは削除されます。インストールの際には、ATOKの削除確認の画面も表示されません。

※プログラムを削除しても、登録した単語や設定は本製品に引き継ぐことができます。

※削除対象外のATOKは、本製品と同じパソコンで使用できます。

削除の対象となるATOKのバージョン

ATOK (Tech Ver.31)

※ATOK for 一太郎2020/ATOK for 一太郎2019/ATOK for 一太郎2018を含みます。

※ATOK 2017以前のATOKを削除する場合は、

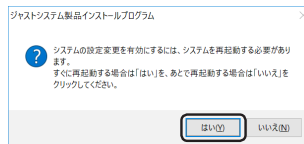
「P.61 **★ポイント** 旧バージョンのATOKを削除する」をご覧ください。

5 インストールプログラムを終了する

1. **終了する** をクリックします。

6 Windowsを再起動する

1. **はい** をクリックして、Windowsを再起動します。



◆ATOKの環境を設定する

1 スタートアップツールが起動する

Windowsを再起動し、デスクトップ画面に切り替えると、自動的にスタートアップツールが起動します。

スタートアップツールでは、次のことが行えます。

- 旧バージョンのATOKやWindows付属の日本語入力システム(Microsoft IME)の辞書に登録している単語を、最新のATOKの辞書に追加する
- 旧バージョンのATOK(ATOK 2007以降)から入力や変換に関する設定を引き継ぐ
- ATOKのキー操作を、Microsoft IME風に設定する
【例】**↓**キーで次候補、**←**・**→**キーで文節移動
- ATOK Sync アドバンスを利用している場合に、インターネットディスク上にアップロードしているデータを取り込む

※スタートアップツールについて詳しくは、**ヘルプ** をクリックして表示される説明をご覧ください。

スタートアップツールをあとで実行する

Windowsの[スタート] ボタンをクリックし、アプリケーション一覧から[ATOK-スタートアップツール for ATOK]を選択します。

※Windows 8.1の場合は、アプリケーション画面で[ATOKツール]をクリックし、[スタートアップツール]を選択します。

1. 次へ をクリックします。



つづく

★ポイント スタートアップツールの起動について

Windowsを複数のユーザーで利用する設定にしている場合は、ATOKをインストールしたときには異なるユーザーで初めてサインインしたときにも、スタートアップツールが自動的に起動します。

★ポイント スタートアップツールの設定が有効になるタイミング

スタートアップツールで設定した内容は、スタートアップツールを終了したあとに起動するアプリケーションから有効になります。

※スタートアップツールを終了する前に起動していたアプリケーションでは有効になりません。

また、デスクトップ画面では、Windowsを再起動後に有効になります。

2 引継ぎ設定をする

以降の操作は、ハードディスクに旧バージョンのATOKがあるかないかで異なります。

● ハードディスクに旧バージョンのATOKがある場合

1. [標準] / [手動] のどちらかを選択し、**次へ** をクリックします。

【標準】

インストールされている旧バージョンのATOKの中で、最も新しいATOKの内容が引き継がれます。

- 入力・変換の設定
- 辞書・登録単語
オプション製品の専門用語変換辞書や連想変換辞書も、一部の辞書を除き、そのまま最新のATOKで使える辞書として引き継がれます。
- お気に入り文書・省入力データ・確定履歴など
各種ユーザーデータ
- プロパティ関連付けツール、文書学習ツールの設定
※表示色などの設定は引き継がれません。

【手動】

[標準] で引き継げる内容のほかに、以下の内容も引き継げます。

- キー・ローマ字の割り付け*1
- 表示色の設定*1

*1 自分で作成したスタイルを使用していた場合は、[標準] でも引き継ぐことができます。

あとは画面に従って操作を進めます。

※ **ヘルプ** をクリックすると、各設定項目の説明を見ることができます。

● ハードディスクに旧バージョンのATOKがない場合

1. 文字の入力方法(ローマ字/カナ)を選択し、**次へ** をクリックします。
2. ATOK標準のキー操作にするか、Microsoft IMEと同じようなキー操作にするかを選択し、**次へ** をクリックします。

あとは画面に従って操作を進めます。

※ **ヘルプ** をクリックすると、各設定項目の説明を見ることができます。

以上でATOKのスタートアップツールの設定が完了しました。

スタートアップツールでの設定が終了すると、引き続き有効化について説明するテキストが表示されます。

▶ P.49 ATOKを有効化する

★ポイント ATOKの環境設定やユーザー辞書について

ATOKの環境設定は、インストール後、各ユーザーで初めてサインインしたときに、レジストリに記述されます。

また、ユーザー辞書は下記のフォルダーに作成されます。

?:\Users*¹\<各ユーザー名>\AppData\Roaming\Justsystem\ATOK32

※「?」には、Windowsの存在するドライブ名が入ります。

*1 エクスプローラーなどでは「ユーザー」と表示されます。

ユーザー辞書のファイル名と保存場所は、ATOKのプロパティ（環境設定）の [辞書・学習] シートで、[学習] の [詳細設定](#) をクリックして確認できます。バックアップツールを使って、ユーザー辞書などを保存することもできます。

▶ P.35 ATOKの環境をバックアップする

なお、上記の場所がエクスプローラーなどに表示されないときは、デスクトップ画面に切り替えて、画面下部のタスクバーにある [エクスプローラー] をクリックし、[表示] シートにある [ファイル名拡張子] をオンにします。

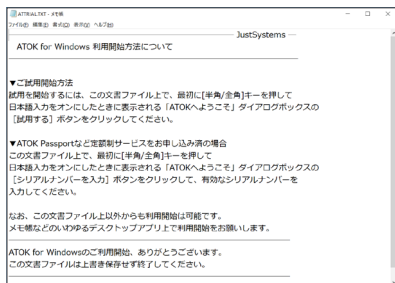
◆ATOKを有効化する

1 [ATOKへようこそ] ダイアログボックスを表示する

ATOKの有効化を行います。契約情報を管理するサーバーとインターネット接続をしてライセンス認証を行い、ATOKを使用できるようにします。

1. 初めてATOKを使用する環境の場合は、スタートアップツール終了時に、下記のような画面のテキストが自動で表示されます。

メモ帳などデスクトップアプリでテキストが開かれている場合は、そのアプリ上で有効化します。



2. デスクトップ画面のタスクバーまたは言語バーにATOKボタンが表示されていることを確認します。

注意 ATOKの有効化は、デスクトップアプリ上で行ってください

Windows ストアアプリやエクスプローラーの検索欄上では有効化できません。

注意 シリアルナンバーとオンライン登録キーは大切に保管してください。

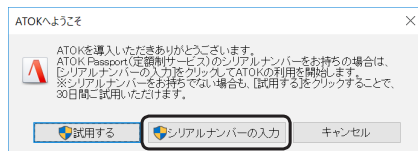
ATOK Passport契約の手続き完了後に、@atok.com または @justmyshop.comからお送りしたメールにシリアルナンバーとオンライン登録キーが記載されています。再インストールする場合などに必要になりますので、大切に保管してください。

？ 困った 有効化や接続テストの際に「ネットワークでエラーが発生しました」と表示される

ATOK Passportの利用時や有効化、接続テストなどの際にエラーが表示される場合は、パソコンの状態を確認したり、契約の情報を確認したりします。操作方法について詳しくは、サポート情報サイトを参照してください。

<https://support.justsystems.com/>

3. キーボードで[半角/全角]キーを押します。
[ATOKへようこそ] ダイアログボックスが表示されます。
4. **シリアルナンバーの入力** をクリックします。
[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、**はい** をクリックします。



無償試用する場合

ATOKを無償試用する場合は、**試用する** を選択して試用を開始してください。

[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、**はい** をクリックします。

あとは、画面に従って操作を進めます。

※ Administratorsグループに所属しているユーザーや、管理者アカウントのユーザーでサインインしている必要があります。

※ 無償試用中は、ATOKクラウドサービスやATOK My Passportはご利用いただけません。

つづく

2 Just アカウントを入力する

1. 画面に従って、Just アカウントのメールアドレスまたは User ID とパスワードを入力し、**次へ** をクリックします。

ATOK Passport を契約したときの Just アカウントを入力します。

2. このパソコンで利用する [シリアルナンバー] を選択し、**次へ** をクリックします。

3 有効化を終了する

1. 画面に従って有効化を終了します。

4 メモ帳を終了する

1. メモ帳など文字を入力できるアプリケーションを終了します。

★ポイント 無償試用期間終了後に引き続きATOKを利用する場合

無償試用版を試用できる期間は、ATOKを試用しはじめた日から30日間です。

継続してATOKを利用したい場合は、ジャストシステムのオンラインショッピングサイト「Just MyShop」から、「ATOK Passport」をご購入ください。

購入すると、シリアルナンバーとオンライン登録キーが発行されるので、「ATOKを有効化する」の操作を行ってください。


有効化すると、ATOKを引き続き使用できるようになります。また、ユーザー辞書の学習は引き続き利用できます。


◆再起動する

1 Windowsを再起動する

1. 有効化終了後、Windowsを再起動します。

Windowsを再起動しないでATOKクラウドサービスの初期設定をする

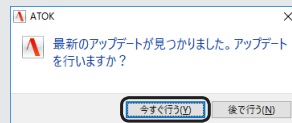
タスクバーの [あ] を右クリックし、 [ATOKメニュー] をクリックして、[基本のメニュー] を選択したあと [ATOKクラウドサービス-クラウドサービスの初期設定] を選択します。

※言語バーやATOKパレットを表示している場合は、言語バーまたはATOKパレットの  [メニュー] をクリックして、[基本のメニュー] を選択したあと [ATOKクラウドサービス-クラウドサービスの初期設定] を選択します。

★ポイント アップデートを知らせる画面が表示されたときは

ATOKをインストールすると、アップデートモジュールの配信を定期的チェックしてお知らせする「JUSTオンラインアップデート」も同時にインストールされます。より安全・安心に製品をお使いいただくために、JUSTオンラインアップデートでアップデートモジュールを導入し、プログラムは常に最新の状態にしてご使用になることをお勧めします。

- ATOKのインストールとサービスの設定後、最新のアップデートが見つかった場合は、アップデートを行う画面が表示されます。**今すぐ行う** をクリックすると、JUSTオンラインアップデートが起動します。
- ATOKを利用開始後、導入が必要なアップデートモジュールなどがあると、JUSTオンラインアップデートの画面が表示されます。JUSTオンラインアップデートを知らせる画面が表示されたときは、実行する製品のチェックボックスをオンにして、**ダウンロードして実行** をクリックします。



◆ATOKクラウドサービスの初期設定をする

1 ATOKクラウドサービスの設定をする

スタートアップツールでの設定が終了すると、引き続きATOKクラウドサービスの設定を行う画面が表示されます。

ATOKクラウドサービスを利用する場合は、サービスの申し込みなど、必要な手続きや設定を行うことができます。

▶ P.56 ATOKクラウドサービスの使用方法を確認する

1. 次へ をクリックします。



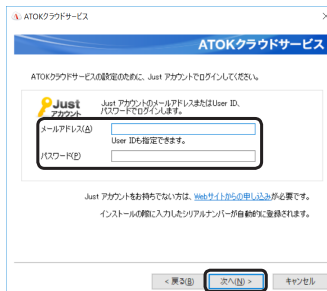
※ATOKクラウドサービスを利用しない場合は、**キャンセル** をクリックします。

次に [ユーザー登録] 画面が表示されます。

2 Just アカウントを入力する

1. Just アカウントのメールアドレスまたはUser IDとパスワードを入力し、次へ をクリックします。

ATOK Passportを契約したときの Just アカウントを入力します。



あとは画面に従って操作を進めます。


ATOKクラウドサービスの設定が終了したら、[ユーザー登録] 画面が表示されます。


ATOKクラウドサービスのご利用について

● ATOKクラウドサービス

- ▶ P.56 ATOKクラウドサービスの使用方法を確認する
<https://www.atok.com/useful/>

ATOKクラウドサービスの初期設定をあとで実行する

タスクバーの [あ] を右クリックし、 [ATOKメニュー] をクリックして、[基本のメニュー] を選択したあと [ATOKクラウドサービス-クラウドサービスの初期設定] を選択します。

※言語バーやATOKパレットを表示している場合は、言語バーまたはATOKパレットの  [メニュー] をクリックして、[基本のメニュー] を選択したあと [ATOKクラウドサービス-クラウドサービスの初期設定] を選択します。

◆ATOK My Passportの設定をする

1 利用中の端末をATOK My Passportの表示対象に設定する

ATOKクラウドサービスの設定が終了すると、引き続きATOK My Passportの設定を行う画面が表示されます。

ご利用中の端末をATOK My Passportの表示対象に含める場合は、画面に従って操作を進めます。

1. 次へ をクリックします。



※ATOK My Passportを利用しない場合は、**後から行う** をクリックします。

ご利用中の端末がATOK My Passportの表示対象に設定されました。

2 Just アカウントを入力する

1. Just アカウントの入力画面が表示されたら、Just アカウントのメールアドレスまたはUser IDとパスワードを入力し、**次へ** をクリックします。

※ATOKクラウドサービスの初期設定から引き続き操作している場合、この操作はスキップされます。

ATOK Passportを契約したときの Just アカウントを入力します。

3 ATOK My Passportの設定を完了する

あとは画面に従って操作を進めます。

ATOK My Passportの初期設定をあとで実行する

タスクバーの [あ] を右クリックし、[ATOKメニュー] をクリックして、[基本のメニュー] を選択したあと [ヘルプ-ATOK My Passportに表示する情報を送る] を選択します。

※言語バーやATOKパレットを表示している場合は、言語バーまたはATOKパレットの [メニュー] をクリックして、[基本のメニュー] を選択したあと [ATOK My Passport-ATOK My Passportの初期設定] を選択します。

以上でATOKのインストールと設定が完了しました。

- ▶ P.51 アップデートを知らせる画面が表示されたときは
- ▶ P.55 ATOKがインストールできたかどうかを確認する
- ▶ P.58 ATOK My Passportページの表示を確認する

？ 困った 「ライセンス認証に失敗したため、ATOKを利用することができません」というメッセージが表示される

「一太郎」に搭載のATOKをインストールした場合、ATOKをオンにしたりATOKで入力・変換しようとしたりとすると、ライセンス認証が自動的に行われます。ライセンス認証に失敗した場合、ATOKを利用することができません。失敗した理由によって対処方法が異なります。[ライセンス認証に失敗した理由]に表示された内容を確認し、表示された画面の指示に従って、操作を行ってください。

●理由に「入力されたシリアルナンバーは、この製品のために発行されたものではありません」と表示されている場合
インストール時にご購入の製品以外のシリアルナンバー・オンライン登録キーを入力したことが考えられます。JS使用者情報変更ツールでご購入の製品のシリアルナンバー・オンライン登録キーを設定しなおします。

1. 本製品のシリアルナンバー・オンライン登録キーを確認します。
▶ P.41 シリアルナンバー・オンライン登録キー・User IDの確認
2. 「ライセンス認証に失敗したため…」メッセージの「JS使用者情報変更ツールを起動する」をクリックします。
このほかの起動方法 ▶ P.54 ★ポイント 使用者名を設定・変更する、User IDを入力しなおす
3. [変更対象製品] の選択欄をクリックし、該当するATOKを選択します。
4. [シリアルナンバー] と [オンライン登録キー] にご購入の製品のシリアルナンバーとオンライン登録キーを入力し、「登録」をクリックして操作を進めます。
5. 設定が完了したら、「終了」をクリックして終了の操作を進めます。
次に起動するアプリケーションからATOKを利用できるようになります。

★ポイント 使用者名を設定・変更する、User IDを入力しなおす

使用者名やUser IDは、JS使用者情報変更ツール*1を使って、あとから変更することができます。

ツールが起動したら、対象の製品名を選択して情報を設定し、「登録」をクリックして操作を進めます。

※使用者名は、各ユーザーで設定した内容が変更されます。法人名・シリアルナンバー・User IDは、管理者アカウントのユーザーで設定した内容が変更されます。

※ [変更対象製品] で [すべての製品] を選択した場合、シリアルナンバー・User IDの変更はできません。

*1 [JS使用者情報変更ツール] は、次の方法で起動します。

Windows 10の場合は、Windowsの [スタート] ボタンをクリックし、アプリ一覧から [JustSystems ツール&ユーティリティ -JustSystems ツール&ユーティリティ] の [商品共通] から [JS使用者情報変更ツール] を選択します。

Windows 8.1の場合は、アプリ一覧画面で [JustSystems ツール&ユーティリティ] をクリックし、[商品共通] から [JS使用者情報変更ツール] を選択します。

◆ATOKがインストールできたかどうか確認する

ATOKをインストールすると、タスクバーや言語バーにATOKの状態が表示されます。表示される内容は、OSによって異なります。

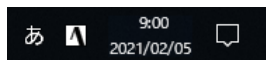
※ATOKの状態を表示するには、スタートアップツールを実行後にWindowsを再起動し、テキストエディターなどのアプリケーションを起動する必要があります。

● Windows 10/8.1の場合

デスクトップ画面のタスクバーにATOKのボタンが表示されます。

▶ P.55 **？困った** Windowsの入力方式の一覧にATOKが表示されない

▶ P.10 **★ポイント** Windowsの言語バーを表示する



？困った タスクバーや言語バーにATOKのボタンが表示されない ▶ P.9

★ポイント ATOKパレットを表示する

ATOKの設定の変更や確認、機能の実行などは、Windowsの言語バーから行うことができます。

言語バーを表示する方法 ▶ P.10 **★ポイント** Windowsの言語バーを表示する

ATOKパレットを表示することもできます。ただし、次の制限があります。

- Windows 10で、タスクバーでの検索でATOKが利用できない
- Windows 10/8.1で、Windows ストアアプリ上でATOKを利用できない

この制限のもと、ATOKパレットを表示する場合は、プロパティ（環境設定）で設定を変更します。

1. [プロパティ（環境設定）]を起動します。 ▶ P.33 使いやすい設定に変更する
2. [入力・変換] シートの [入力補助-特殊] で **テキストサービスの詳細設定** をクリックします。
3. [ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示されるので、**はい** をクリックします。
4. [テキストサービスを使用しない] を選択し、**OK** をクリックします。
5. Windowsの再起動を確認するメッセージが表示されるので、**はい** をクリックしてWindowsを再起動します。
6. プロパティ（環境設定）を起動し、[入力・変換] シートの [表示] で [ATOKの状態を言語バーで表示する] をオフにして、**OK** をクリックします。
▶ **ATOKヘルプキーワード** プロパティ

？困った Windowsの入力方式の一覧にATOKが表示されない

Windowsの入力方式の一覧にATOKが表示されないときは、一度ATOKを削除（アンインストール）し、特別な方法でATOKをインストールする必要があります。

操作方法について詳しくは、サポート情報サイトを参照してください。



<https://support.justsystems.com/>

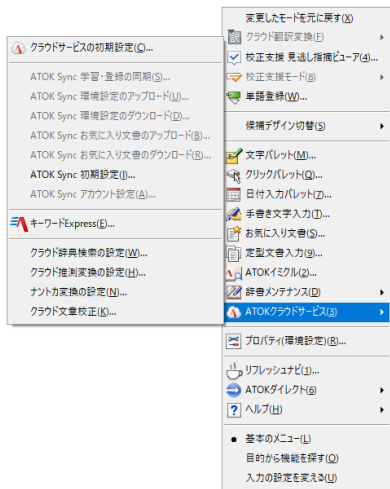
◆ATOKクラウドサービスの使用方法を確認する

ATOKクラウドサービスは、ATOKでの入力・変換中に役に立つ機能です。
あとから初期設定をし直す場合は、ATOKメニューから行います。

ATOKクラウドサービスの設定を確認する

ATOKクラウドサービスの設定は、以下のメニューから確認します。

1. タスクバーの【あ】を右クリックし、【ATOKメニュー】をクリックして、【基本のメニュー】を選択したあと【ATOKクラウドサービス】を選択します。
※言語バーやATOKパレットを表示している場合は、言語バーまたはATOKパレットの【メニュー】をクリックして、【基本のメニュー】を選択したあと【ATOKクラウドサービス】を選択します。
2. 設定を確認したいサービスをメニューから選びます。
各メニューのダイアログボックスで、チェックボックスがオンになっているか確認します。



ATOKクラウドサービスは、初期設定を行ったあと、利用したいサービスをメニューから選択できます。
また、ATOK Passport [ベーシック]/ATOK Passport [プレミアム]で利用できるサービスが異なります。

ATOKキーワードExpressが設定されているか確認する

1. 【キーワードExpress】を選択します。
2. 【配信中のキーワードのジャンル】 チェックボックスがオンになっているか確認します。
3. **OK** をクリックします。

ATOKクラウド辞典が設定されているか確認する

1. 【クラウド辞典検索の設定】を選択します。
2. 【使用可能なATOKクラウド辞典】で該当する電子辞典を選択します。
3. 【ATOKクラウド辞典検索を使用する】チェックボックスがオンになっているか確認します。
4. **OK** をクリックします。

ATOKクラウド推測変換が設定されているか確認する


1. 【クラウド推測変換の設定】を選択します。
2. 【変換設定】で地域を選択します。
3. 【ATOKクラウド推測変換を使用する】チェックボックスがオンになっているか確認します。
4. **OK** をクリックします。


ATOKナントカ変換が設定されているか確認する

1. [ナントカ変換の設定] を選択します。
2. [ナントカトリガー] に使用する読みが表示されているか確認します。
ナントカトリガーが表示されていないときは、**追加** をクリックし、読みを入力して **OK** をクリックします。
3. [ATOKナントカ変換を使用する] チェックボックスがオンになっているか確認します。
4. **OK** をクリックします。

クラウド文章校正を起動する

クラウド文章校正は初期設定を行わず利用できます。

1. タスクバーの[あ]を右クリックし、 [ATOKメニュー] をクリックして、[基本のメニュー] を選択したあと [ATOKクラウドサービス-クラウド文章校正] を選択します。

※言語バーやATOKパレットを表示している場合は、言語バーまたはATOKパレットの  [メニュー] をクリックして、[基本のメニュー] を選択したあと [ATOKクラウドサービス-クラウド文章校正] を選択します。

「ATOKクラウドチェッカー」のサイトがブラウザで開きます。

2. Just アカウントでログインします。


ATOK Passportを契約したときの Just アカウントを入力します。


ATOKクラウド文章校正サービスは、「ATOK Passport [プレミアム]」をご契約の場合に利用できます。

◆ATOK My Passportページの表示を確認する

ATOK My Passportページを表示する

ATOK My Passportページへは、以下の操作でログインして表示することができます。

1. タスクバーの [あ] を右クリックし、 [ATOKメニュー] をクリックして、[基本のメニュー] を選択したあと [ヘルプ-ATOK My Passportページにログインする] を選択します。

※言語バーやATOKパレットを表示している場合は、言語バーまたはATOKパレットの  [メニュー] をクリックして、[基本のメニュー] を選択したあと [ヘルプ-ATOK My Passportページにログインする] を選択します。

ご利用中の端末をATOK My Passportの使用対象に含める場合は、初期設定が必要です。

▶ P.53 ATOK My Passportの設定をする

◆辞書・辞典をインストールする

ATOKバリューアップサービス [ベータ]で公開される辞書や別途販売されている専門用語辞書、ATOK連携電子辞典をご利用いただけます。

インストールは、各製品のインストールプログラムの画面に従って操作を進めます。

※ATOK Passportのクラウド辞典はインストールする必要はありません。

▶ P.56 ATOKクラウドサービスの使用方法を確認する

乗換案内 駅名変換辞書 for ATOK

辞書、省入力データ、電子辞典で構成されています。駅名を簡単に入力したり、駅の情報を検索したりすることができます。

▶ [ATOKヘルプキーワード] 駅名変換辞書

●乗換案内 駅名変換辞書 for ATOKをインストールする

！ 注意 乗換案内 駅名変換辞書 for ATOKのインストールは、ATOKをインストールしたあとで行います

1 アプリケーションを終了する

▶ P.44 操作 **1** インストールを始める準備をする

2 インストール開始画面を表示する

▶ P.44 操作 **2** -1.~2.



3 インストールする

※インストールするドライブやフォルダーを変更することはできません。

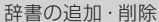


1. **乗換案内 駅名変換辞書 for ATOKのインストール** をクリックします。
[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、操作**2**.に進みます。
[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスの画面
▶ P.45 操作 **2** -4.
インストールプログラムが起動した場合は、操作**3**.に進みます。
2. **はい** をクリックします。
3. 使用許諾契約を確認して **同意する** をクリックします。
4. タイトルの前のチェックボックスがすべてオンになっていることを確認して **開始** をクリックします。
あとは画面に従って操作を進めます。

◆辞書、電子辞典、省入力データがインストールできたかどうか確認する




専門用語変換辞書やATOK連携電子辞典をインストールした場合、辞書、電子辞典、省入力データが使える状態になっているか確認します。

メモ帳など文字を入力できるアプリケーションを起動し、タスクバーの[あ]を右クリックし、 [ATOKメニュー] をクリックして [基本のメニュー] を選択したあと [プロパティ (環境設定)] を選択します。▶ P.13 ATOKメニューについて
ATOK プロパティで下記の操作を行って確認し、終わったら  をクリックしてATOK プロパティを終了します。

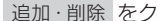


辞書(専門用語変換辞書)

1. [辞書・学習] シートを選択します。
2. [辞書セット一覧] で該当する辞書セットを選択します。
3. 目的の辞書が表示されていて、チェックボックスがオンになっているか確認します。
辞書が表示されていないときは、 をクリックします。
[追加可能な辞書の一覧] から辞書を選択して  をクリックし、 をクリックします。

電子辞典

1. [電子辞典検索] シートを選択します。
2. [日本語辞典] または [英語辞典] に目的の電子辞典が表示されていて、チェックボックスがオンになっているかを確認します。
電子辞典が表示されていないときは、 をクリックします。
[追加可能な電子辞典の一覧] から電子辞典を選択して  をクリックし、 をクリックします。

省入力データ

1. [入力・変換] シートを選択します。
2. 左側の [設定項目] で [推測変換] の [省入力データ] を選択します。
3. [省入力データを使用する] がオンになっていることを確認します。
4. [省入力データの内容] に目的の省入力データが表示されていて、チェックボックスがオンになっていることを確認します。
省入力データが表示されていないときは、 をクリックします。
[追加可能な省入力データの一覧] から省入力データを選択して  をクリックし、 をクリックします。

インストールした内容を削除するには

インストールしたあとで、ATOKを削除(アンインストール)することができます。

◆ATOKを削除(アンインストール)する

ATOKをハードディスクからすべて削除する場合は、次の操作で削除します。

1 アプリケーションを終了する

▶ P.44 操作 **1** インストールを始める準備をする

2 ATOKを削除する

操作の途中で、[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合
「はい」をクリックします。

1. Windows のコントロールパネルを表示します。

※Windows 10の場合は、タスクバーの左端にある [スタート] ボタンをクリックし、アプリ一覧から [Windows システムツール-コントロールパネル] を選択します。

※Windows 8.1の場合はWindowsの [スタート] を右クリックし、[コントロールパネル] を選択します。

2. [プログラムのアンインストール] を選択します。

インストールされているプログラムの一覧が表示されます。

3. [ATOK] を選択します。

4. アンインストール をクリックします。

あとは、画面に従って操作を進めます。

ATOKを削除しても、ATOKの環境設定や登録した単語が記憶されているユーザー辞書は、ATOK32フォルダーに残ります。

▶ P.48 ★ポイント ATOKの環境設定やユーザー辞書について

★ポイント 旧バージョンのATOKを削除する

● ATOK 2007以降の場合

Windowsのコントロールパネルからプログラムのアンインストールを実行し (▶ P.61 操作 **2** -1.~2.)、削除したい製品を選択して削除します。

◆ ツールを削除(アンインストール)する

ATOK Passportをご契約の場合は、ATOKダイレクトのツールをダウンロードできます。ツールのアンインストールは、ATOKとは別に削除が必要です。次の操作で削除します。

1 アプリケーションを終了する

▶ P.44 操作 1 インストールを始める準備をする

2 ツールを削除する

1. コントロールパネルから、[プログラムのアンインストール] を実行します。

▶ P.61 操作 2 -1.~2.

2. ツール名*1 を選択して、**アンインストール** をクリックします。

*1 ATOKダイレクト for はてなを削除するときは [ATOKダイレクト プラグインの削除] を選択します。[ATOKダイレクト プラグインのアンインストール] ダイアログボックスが表示されたら、[ATOKダイレクト for はてな] をオンにして、**開始** をクリックします。

[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、**はい** をクリックします。

[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスの画面

▶ P.45 操作 2 -4.

あとは、画面に従って削除の操作を進めます。

◆ 辞書・辞典を削除(アンインストール)する

辞書・辞典を導入されている場合、ATOKとは別に削除が必要です。次の操作で削除します。

1 アプリケーションを終了する

▶ P.44 操作 1 インストールを始める準備をする

2 辞書・辞典を削除する

1. コントロールパネルから、[プログラムのアンインストール] を実行します。

▶ P.61 操作 2 -1.~2.

2. [ATOK辞書・辞典の削除] を選択して、**アンインストール** をクリックします。

[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、操作3.に進みます。

[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスの画面

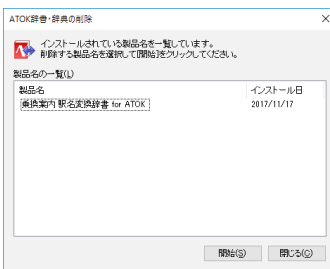
▶ P.45 操作 2 -4.

[ATOK辞書・辞典の削除] ダイアログボックスが表示された場合は、操作4.に進みます。

3. **はい** をクリックします。

[ATOK辞書・辞典の削除] ダイアログボックスが表示されます。

4. 削除したい辞書・辞典を選択して、**開始** をクリックします。



あとは、画面に従って削除の操作を進めます。

ATOKクラウドサービスとは

最新キーワードの受け取りや、複数のパソコンで登録単語などのデータ共有ができるなど、便利なサービスを利用できます。

ATOKクラウドサービスを利用するには、初期設定が必要です。

- ▶ P.52 ATOKクラウドサービスの初期設定をする
- ▶ P.56 ATOKクラウドサービスの使用方法を確認する

※ATOKクラウドサービスは、今後も追加される予定です。詳しくはWebページをご覧ください。

<https://www.atok.com/useful/>

最新のキーワードを受け取る —ATOKキーワードExpress—

大きなニュースや話題に付けられる名称、次に公開される映画タイトルなど、私たちの周りでは日々新しいことばが出現します。ATOKキーワードExpressは、新しいキーワードを配信するサービスです。配信されたキーワードは、お使いのATOKの推測候補として自動的に追加されます。あとからキーワードのサンプルを確認できます。

▶ [\[ATOKヘルプキーワード\]](#) キーワードExpress

※最新バージョンのATOKでのみ利用できます。

複数の環境でATOKを同じように使用する —ATOK Sync アドバンス—

ATOK Sync アドバンスを利用すると、複数のパソコンのATOKや、MacやスマートフォンのATOKと登録単語などのデータを共有することができます。


※アプリケーション無償領域に申し込むと、ATOK Passportを契約中はずっとご利用いただけます。一太郎2021シリーズからお申し込みの場合は、12か月無償でご利用いただけます。申込期限はオンラインカタログをご覧ください。

※環境設定の同期が取れるのは、Windows版のATOK間だけです。
※ATOK for iOSからは、Windows版やMac版ATOKで登録した単語を共有(ダウンロード)できます。

※一太郎2021シリーズからお申し込みの場合は、ATOK for Androidについても、Windows版やMac版で登録した単語を共有(ダウンロード)できます。

▶ [\[ATOKヘルプキーワード\]](#) ATOK Sync

！ 注意 ATOK Sync アドバンスを利用するには、パソコンごとに初期設定が必要です

タスクバーの[あ]を右クリックし、 [ATOKメニュー] をクリックして [基本のメニュー] を選択したあと、[ATOKクラウドサービス-クラウドサービスの初期設定] を選択すると設定画面が表示されます。

▶ P.13 ATOKメニューについて

この設定画面の手順に従うことで、製品のユーザー登録や利用開始の申し込みを含め必要な手続きや設定を行うことができます。

※ [ATOK Sync-学習・登録の同期/環境設定のアップロード] などのメニューが表示される場合は、初期設定が完了しています。

●登録単語や学習情報の同期を取る

インストール直後の設定では、次のデータはインターネットディスク上のデータとの同期が自動的に行われます。

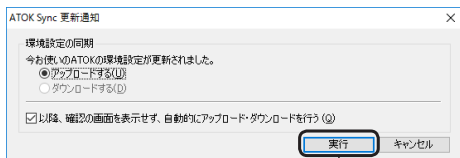
- ・登録単語・用例(学習情報を含む)
- ・確定履歴
- ・ユーザー作成省入力データ
- ・ユーザー作成辞書

●環境設定やお気に入り文書の同期を取る

インストール直後の設定では、環境設定やお気に入り文書は手動で同期を取る設定になっています。タスクトレイに表示されているATOK Sync アドバンスのアイコン上に次のようなメッセージが表示されたら、同期を実行します。




↓
メッセージウィンドウをクリックすると次の画面が表示される




↑
クリックして同期を実行

●タスクトレイのアイコンでATOK Sync アドバンスの状態を確認する


ATOK Sync アドバンスが起動しているときは、タスクトレイにATOK Sync アドバンスのアイコンが表示されます。

…ATOK Sync アドバンスが起動中です。同期処理の実行中は、アイコンの青いマークが回転します。


…環境設定・お気に入り文書の更新を通知します。

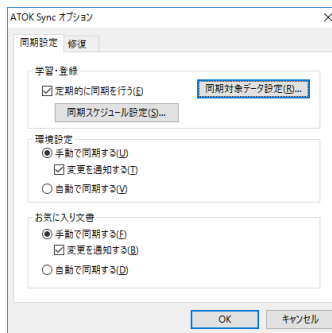
●ATOK Sync アドバンスの設定を変更する

同期の対象にするデータや、自動で同期を取るスケジュールなどを変更する場合は、次のどちらかの方法で [ATOK Syncオプション] ダイアログボックスを表示し、設定を変更します。

- ・タスクバーの [あ] を右クリックし、 [ATOKメニュー] をクリックして [基本のメニュー] を選択したあと、[ATOKクラウドサービス-ATOK Sync オプション] を選択する


▶ P.13 ATOKメニューについて

- ・タスクトレイのATOK Sync アドバンスのアイコン  上で右クリックし、表示されるメニューから [オプション] を選択する



変換したことばを翻訳する —8カ国語クラウド翻訳変換 for ATOK—

ATOKで変換したことばを、英語・中国語・韓国語・ドイツ語・イタリア語・フランス語・スペイン語・ポルトガル語へ翻訳することができます。

8カ国語クラウド翻訳変換 for ATOKの使い方について詳しくは、タスクバーの [あ] を右クリックし、 [ATOKメニュー] をクリックして [基本のメニュー] を選択したあと、[クラウド翻訳変換—クラウド翻訳変換の使い方] をご覧ください。

▶ P.13 ATOKメニューについて

▶ [ATOKヘルプキーワード] 翻訳変換

8カ国語クラウド翻訳変換 for ATOKは、「ATOK Passport [プレミアム]」をご契約の場合に利用できます。

ATOKクラウド推測変換サービス

幅広い分野の単語が登録されたクラウド辞書を利用して、推測候補が表示されます。映画やゲームのタイトルのように長い単語も数文字入力するだけで正確な変換候補が表示されたり、よく使う単語からジャンルを推測して優先的に推測候補が表示されたりするようになります。また、クラウド辞書の確定履歴を端末内の辞書が学習するため、インターネット接続されていなくても推測された変換候補が表示されます。

ATOK Passport [プレミアム]ではクラウド辞書の見出し語も変換候補に表示されます。

ATOKナントカ変換サービス

「なんとか」に続けてことばを入力すると、後半が一致する候補をATOKが推測して候補を表示します。正確に思い出せないことばでも的確な変換候補に絞り込めます。「なんとか」以外に5個までキーワードをカスタマイズできます。

ATOKクラウド辞典サービス

クラウド上の電子辞典を利用して、ことばの意味を調べることができます。インストールすることなく、ローカルの電子辞典と同じ操作で最新の辞典を利用できます。

ATOKクラウド辞典サービスは、「ATOK Passport [プレミアム]」をご契約の場合に利用できます。

ATOKクラウド文章校正サービス

Webサイト「ATOKクラウドチェッカー」を利用して、誤字・脱字・表記揺れによる文章の間違いをすばやく見つけられます。メールの送信前やドキュメントの提出前など最終チェックに利用できます。

▶ P.57 クラウド文章校正を起動する

ATOKクラウド文章校正サービスは、「ATOK Passport [プレミアム]」をご契約の場合に利用できます。

ATOK Passportをもっと活用する

ATOK My Passport

ATOK My Passportで契約中のJust アカウントでWebサイトにログインすると、お使いの端末にインストールしたATOKの状況が一覧表示されます。アップデートの適用状況や、ATOK Sync アドバンスの利用状況を確認でき、登録した単語などのデータがどの端末で共有されているかなどを把握することができます。

- ▶ P.53 ATOK My Passportの設定をする
- ▶ P.58 ATOK My Passportページの表示を確認する

ATOKマンスリーレポート

1か月間に入力した文字の総数や変換した文字種の傾向を確認できます。また、入力ミスについてもQWERTYキーボードのどの文字位置で入力ミスが多いかなどを視覚的に確認できます。

- ※ATOKをインストールした端末ごとに計測されます。
- ※ATOK for Windowsでご使用いただけます。



ショートカットキー 一覧 (ATOKスタイル)

ATOKの標準的なキー割付の設定(ATOKスタイル)は、次のとおりです。

現在のスタイルは、プロパティ(環境設定)の[キー・ローマ字・色]シートで確認できます。

このほかのショートカットキーについては、ヘルプをご覧ください。▶[ATOKヘルプキーワード](#) ショートカットキー

変換操作

変換 / 次候補	スペース / 変換 / Ctrl + ↓ Shift + スペース
変換 / 前候補	↑ / Ctrl + ↑
推測変換	Tab
再変換(読みへの復帰)	Shift + 変換
連想変換	Ctrl + Tab
ひらがな(後)変換	F6 / Ctrl + U (な)
カタカナ(後)変換	F7 / Ctrl + I (に)
半角(後)変換	F8 / Ctrl + O (ら)
全角無変換(後)変換	F9 / Ctrl + P (せ)
半角無変換(後)変換	F10 / Ctrl + @
読みの英字/カナ置換	F11
人名変換辞書セットで変換	F2
郵便番号辞書セットで変換	F3
アクセサリ辞書セットで変換	F4
オプション辞書セットで変換	F5
一文字入力辞書セットで変換	Shift + F6

文字編集、確定、取消操作

全文確定	Enter / Ctrl + M (も)
部分確定	↓ / Ctrl + N (み)
1音確定	Shift + ↓
自動表示候補確定	Shift + Enter / Ctrl + Enter
先頭1文字を確定	PageDown
末尾1文字を確定	PageUp
変換取消	Backspace / Ctrl + H (<)
全文字削除	Esc / Ctrl + I
前文字削除	Backspace / Ctrl + H (<)
1文字削除	Delete / Ctrl + G (き)
注目文節削除	Shift + Delete
読みの入力誤り位置へジャンプ	Ctrl + J (ま)
自動修復取消	Shift + Backspace
カーソルを前へ移動	← / Ctrl + K (の)
カーソルをうしろへ移動	→ / Ctrl + L (り)
カーソルを先頭へ移動	Ctrl + ←
カーソルを末尾へ移動	Ctrl + →

起動操作

プロパティ(環境設定)	Ctrl + F12
文字パレット	Ctrl + F11
お気に入り文書メニュー	Shift + Ctrl + F11
お気に入り文書リポート	Shift + Ctrl + F12
校正支援 見逃し指摘ビューア	Shift + Ctrl + F10

候補操作

次の候補群を表示	変換
前の候補群を表示	Shift + 変換
次のグループへ移動	Tab / Ctrl + J (ま)
前のグループへ移動	Shift + Tab
先頭文字並べ替え	Ctrl + PageDown
末尾文字並べ替え	Ctrl + PageUp
情報ウィンドウ表示 / 表示切替	End
情報ウィンドウ非表示	Shift + End
情報ウィンドウ次ページへ移動	Shift + Ctrl + PageDown
情報ウィンドウ前ページへ移動	Shift + Ctrl + PageUp
電子辞典 部分一致検索	Shift + Ctrl + End
全候補を表示	Ctrl + スペース
IVS選択ウィンドウオープン / クローズ	Home

文節操作

文節の区切りを前へ移動	← / Ctrl + K (の)
文節の区切りをうしろへ移動	→ / Ctrl + L (り)
注目文節を前へ移動	Shift + ←
注目文節をうしろへ移動	Shift + →
注目文節を先頭へ移動	Ctrl + ←
注目文節を末尾へ移動	Ctrl + →

機能操作

日本語入力オン/オフ	半角/全角
単語登録	Ctrl + F7
単語削除	Ctrl + Delete
確定のアンドゥ	Ctrl + Backspace
確定のリビート	Ctrl + F8 / Shift + Ctrl + R (す)
ATOKメニュー	Ctrl + F10
入力文字種切替メニュー	Ctrl + F9
変換辞書切替メニュー	Shift + F8
漢字/半角モード切替	変換
固定入力英字順次切替	Shift + 無変換
固定入力カナ順次切替	Ctrl + 無変換
漢字入力モード順次切替	ローマ字 (Alt + <small>カタカナ</small>) ^{*1}
半角無変換固定入力(A) オン/オフ	無変換
英語入力モード オン/オフ	<small>Caps Lock</small> 英数
カナ入力切替	<small>カタカナ</small> ひらがな

*1 109/106日本語キーボードのみ有効です。

ショートカットキー 一覧 (MS-IMEスタイル)

Windows付属の日本語入力システムに近いキー割付の設定 (MS-IMEスタイル) は、次のとおりです。

現在のスタイルは、プロパティ (環境設定) の [キー・ローマ字・色] シートで確認できます。

このほかのショートカットキーについては、ヘルプをご覧ください。▶[ATOKヘルプキーワード] ショートカットキー

変換操作

変換 / 次候補	スペース / 変換 / ↓ / Ctrl + X (さ)
変換 / 前候補	Shift + スペース / Shift + 変換 / ↑ / Ctrl + E (い)
推測変換	Tab
再変換 (読みへの復帰)	変換 / Shift + 変換
連想変換	Ctrl + Tab
ひらがな (後) 変換	F6 / Ctrl + U (な)
カタカナ (後) 変換	F7 / Ctrl + I (に)
半角 (後) 変換	F8 / Ctrl + O (ら)
全角無変換 (後) 変換	F9 / Ctrl + P (せ)
半角無変換 (後) 変換	F10 / Ctrl + T (か)
順次無変換後変換	Shift + 無変換
順次カタカナ後変換	無変換
読みの英字 / カナ置換	F11
人名変換辞書セットで変換	F2
郵便番号辞書セットで変換	F3
アクセサリ辞書セットで変換	F4
オプション辞書セットで変換	Ctrl + F5
一文字入力辞書セットで変換	F5

文字編集、確定、取消操作

全文確定	Enter / Ctrl + M (も) / Ctrl + Enter
部分確定	Ctrl + ↓ / Ctrl + N (み)
1音確定	Shift + ↓
自動表示候補確定	Shift + Enter
変換取消	Backspace / Ctrl + H (<) / Esc / Ctrl + Z (つ)
全文字削除	Esc / Shift + Esc / Ctrl + Z (つ)
前文字削除	Backspace / Ctrl + H (<) / Shift + Backspace
1文字削除	Delete / Ctrl + G (き)
読みの入力誤り位置へジャンプ	Ctrl + J (ま)
自動修復取消	Shift + Backspace
カーソルを前へ移動	← / Shift + ← / Ctrl + S (と) / Ctrl + K (の)
カーソルをうしろへ移動	→ / Shift + → / Ctrl + D (し) / Ctrl + L (り)
カーソルを先頭へ移動	Home / Ctrl + ← / Ctrl + E (い) / ↑
カーソルを末尾へ移動	End / Ctrl + → / Ctrl + X (さ) / ↓

起動操作

お気に入り文書メニュー	Shift + Ctrl + F11
お気に入り文書リポート	Shift + Ctrl + F12
校正支援 見逃し指摘ビューア	Shift + Ctrl + F10

候補操作

次の候補群を表示	PageDown / Shift + ↓
前の候補群を表示	PageUp / Shift + ↑
次のグループへ移動	Tab / Ctrl + J (ま)
前のグループへ移動	Shift + Tab
先頭候補へ移動	Home
最終候補へ移動	End
先頭文字並べ替え	Ctrl + PageDown
末尾文字並べ替え	Ctrl + PageUp
情報ウィンドウ表示 / 表示切替	Ctrl + End
情報ウィンドウ非表示	Shift + End
情報ウィンドウ次ページへ移動	Shift + Ctrl + PageDown
情報ウィンドウ前ページへ移動	Shift + Ctrl + PageUp
電子辞典 部分一致検索	Shift + Ctrl + End
IVS選択ウィンドウオープン / クローズ	Ctrl + Home

文節操作

文節の区切りを前へ移動	Shift + ← / Ctrl + K (の)
文節の区切りをうしろへ移動	Shift + → / Ctrl + L (り)
注目文節を前へ移動	← / Ctrl + S (と)
注目文節をうしろへ移動	→ / Ctrl + D (し)
注目文節を先頭へ移動	Ctrl + ← / Home / Ctrl + A (ち)
注目文節を末尾へ移動	Ctrl + → / End / Ctrl + F (は)

機能操作

日本語入力オン / オフ	半角 / 全角
単語登録	Ctrl + F7
単語削除	Ctrl + Delete
確定のアンドゥ	Ctrl + Backspace
確定のリビート	Ctrl + F8 / Shift + Ctrl + R (す)
ATOKメニュー	Ctrl + F10
変換辞書切替メニュー	Shift + F8
入力文字種 (A / A) 順次切替	Shift + 無変換
入力文字種 (あ / ア / ア)	無変換
順次切替	
漢字入力モード順次切替	ローマ字 (Alt + ひらがな)*1
入力文字種全角ひらがな (あ)	ひらがな (ひらがな)
入力文字種全角カタカナ (ア)	Shift + ひらがな (ひらがな)
英語入力モード オン / オフ	Case Lock (英数)

*1 109/106日本語キーボードのみ有効です。

索引

あ

アルファベットの入力	19
アンインストール	61, 62
インストール	40, 44, 59
英単語の入力	24, 25
大文字(アルファベット)	19, 24
お気に入り文書	30
オンライン登録キー	41, 49

か

カーソル位置の入力モード表示	14
外字	21
顔文字の入力	21, 23, 25
確定	15, 16, 18, 24
カタカナ語英語辞書	24
カタカナの入力	19
角川類語新辞典	39
カナ入力	10, 19
環境設定	33, 48
漢字かな交じり文の入力	15
漢字検索	22
漢字の入力	15, 21, 22, 23
管理者アカウント	44
キーの機能一覧	67, 68
記号辞書	25
記号入力モード	42
記号の入力	20, 22, 23, 25
旧バージョン	
削除	45, 61
辞書やデータの引き継ぎ	36, 37, 39, 42, 47
クリックパレット	23
言語バー	9, 10, 12
校正支援	27
校正支援 見逃し指摘ビューア	14, 27
候補ウィンドウ	16, 17, 18
小文字(アルファベット)	19, 24

さ

削除(アンインストール)	61, 62
サポート情報サイト	6, 36, 37, 49, 55
辞書	
設定	26, 60
バックアップ	30, 35, 36
変換	24, 25
辞書インポートツール	35
辞書セット	26
辞書ユーティリティ	34
住所の入力	24
使用者情報変更ツール	54
使用者名	54
省入力データ	28, 29, 33, 34, 37, 39, 42, 60
ショートカットキー一覧	67, 68

シリアルナンバー	41, 49, 54
人名辞書	24
推測変換	28
数字の入力	19, 20
スタートアップツール	42, 46
専門用語変換辞書	24, 38, 42

た

縦書きのときのキー操作	15
単漢字情報	32
単語登録	30
町名住所変換辞書	24
定型文書入力	30
手書き文字入力	23
テンキーからの入力を必ず半角にする	20
電子辞典	31, 33, 37, 38, 42, 60
電子辞典検索	31, 32, 38
同音語情報	32
動作環境	6
登録単語	
削除	30
バックアップ	30
特殊記号	22
独仏文字の入力	20
取り消し	15, 18

な

名前の入力	24
日本語英語辞書	25
入力	15
入力文字種	11, 12
乗換案内 駅名変換辞書 for ATOK	59

は

ハードディスク必要容量	6
発音記号の入力	20
バックアップ	30, 35, 36
バックアップツール	35, 37
半角入力	19
日付入力パレット	23
日付の入力	21, 23
表現モード	27
ひらがなの入力	15
プロパティ(環境設定)	33
プロパティ関連付けツール	33
文書学習ツール	34
文節の区切り直し	15
別のパソコン	36, 37, 38, 39
ヘルプ	8
ヘルプ・WebFAQ一括検索ツール	8
変換	15, 16, 18, 24
変換候補	15, 16, 17, 18
変換辞書	24, 38, 42
方言	27

ま

丸数字の入力	20
文字情報	32
文字パレット	22

や

有効化	49
ユーザー辞書	30, 33, 35, 36, 42, 48
郵便番号辞書	24

ら

ライセンス認証	9, 41, 49, 54
類語ファインダー	29
連想変換	29
連想変換辞書	29, 33, 37, 39, 42
ローマ字入力	10
ローマ数字の入力	20

数字・アルファベット

8カ国語クラウド翻訳変換 for ATOK	65
ATOK My Passport	53, 58, 66
ATOK Sync アドバンス	45, 46, 63
ATOKイミクル	31
ATOKキーワードExpress	56, 63
ATOKクラウドサービス	6, 51, 52, 56, 63
ATOKクラウド辞典	56, 65
ATOKクラウド推測変換	56, 65
ATOKクラウド文章校正	57, 65
ATOKナントカ変換	57, 65
ATOKのオン/オフ	9
ATOKパレット	9, 42, 55
ATOKマンスリーレポート	66
ATOKメニュー	11, 12, 13
ATOK連携電子辞典	37, 42, 59, 60
JUSTオンラインアップデート	6, 51
Symbolフォントの記号	22
User ID	41, 54
VoiceATOK	42
Windows付属の日本語入力システム (Microsoft IME)	15, 32, 35, 36, 46, 47, 68

ジャストシステムでは、製品に関するご意見・ご要望を広くお待ちしております。
今後の製品への参考とさせていただきますので、ぜひ皆様のご意見をお聞かせください。
ご意見・ご要望は、下記のジャストシステムホームページで承っております。

<https://www.justsystems.com/jp/contact/ask/>

なお、個別の返答はいたしておりませんので、あらかじめご了承ください。

●「ATOK for Windows」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK for Windows」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。●「ATOK」「推測変換」「VoiceATOK」「一太郎」は、株式会社ジャストシステムの登録商標または商標です。●Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。●「ドラゴンスピーチ 11J」は、Nuance Communications, Inc. が開発した製品です。●©2012 Nuance Communications, Inc. All rights reserved. ●Mac は、米国 Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。●IOS は、Cisco 社の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。●「Android」は、Google LLC の商標または登録商標です。●Adobe、Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。●本製品に含まれる郵便番号辞書 (7 桁 /5 桁) は日本郵便株式会社が公開したデータを元に制作されたものです。(一部データの加工を行っています) ●「大漢和コード」は株式会社大修館書店刊行の諸橋勲次著「大漢和辞典」所載の漢字番号です。●Unicode は Unicode, Inc. の商標です。●Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。●本製品に含まれるスベルチェック用英単語辞書は、株式会社大修館書店から許諾・提供された英単語データを元に株式会社ジャストシステムが開発したものです。●本製品に含まれる電子辞典は、各製品の書籍版データに基づいて、ATOK のかな漢字変換に必要な情報を示す機能をもたせたものです。そのため、書籍版とは一部相違があることをあらかじめご了承ください。●その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。●本マニュアル (紙媒体または電子データで提供するものを含みます) は株式会社ジャストシステムが作成したものであり、マニュアルの著作権は、株式会社ジャストシステムに帰属します。使用許諾契約書の条項のほか、以下の点も合わせてご確認ください。1. お客様は、マニュアルを現状の内容のまま、もしくは編集・修正して、画面上もしくは紙資料として利用することができます。ただし、これを第三者へ提供したり、貸し出しすることはできません。2. マニュアルの内容の一部または全部を、株式会社ジャストシステムの書面による許可なく複製、複製して頒布することは、その形態を問わず禁じます。●マニュアルの内容は予告なく変更することがあります。

ATOK for Windows

発行者 関灘恭太郎

発行所 株式会社ジャストシステム

〒163-6017 東京都新宿区西新宿6-8-1

住友不動産新宿オクタワー

2021年1月18日第1版発行

©2021 株式会社ジャストシステム



ローマ字・かな対応表

キーボード上の次の文字を組み合わせて押すことで、ひらがなを入力できます。

あ	あ	い	う	え	お
	A	I	U	E	O
	あ	い	う	え	お
LA	LI	LU	LE	LO	
XA	XI	XU	XE	XO	
	ゐ		ゑ		
	WYI		WYE		
か	か	き	く	け	こ
	KA	KI	KU	KE	KO
	きゃ	きい	きゅ	きえ	きょ
KYA	KYI	KYU	KYE	KYO	
	くあ				
	KWA				
が	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	GA	GI	GU	GE	GO
	ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎょ
GYA	GYI	GYU	GYE	GYO	
	ぐあ				
	GWA				
さ	さ	し	す	せ	そ
	SA	SI	SU	SE	SO
	しゃ	しい	しゅ	しえ	しよ
SYA	SHI	SHU	SYE	SHO	
SHA	SHI	SHU	SHE	SHO	
ざ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
	じゃ	じい	じゅ	じえ	じょ
JYA	JYI	JYU	JYE	JYO	
JHA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO	
JA	JU	JU	JE	JO	
た	た	ち	つ	て	と
	TA	TI	TU	TE	TO
		ち			
		CHI			
		っ			
		LTU LTSU*1			
		XTU XTSU			
ちゃ	ちい	ちゅ	ちえ	ちよ	
TYA	TYI	TYU	TYE	TYO	
CYA	CYI	CYU	CYE	CYO	
CHA	CHU	CHU	CHE	CHO	
つあ	つい		つえ	つお	
TSA	TSI		TSE	TSO	
てや	てい	てゅ	てえ	てよ	
THA	THI	THU	THE	THO	
		とう			
		TWU			
だ	だ	ぢ	づ	で	ど
	DA	DI	DU	DE	DO
	ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢよ
	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
でや	でい	でゅ	でえ	でよ	
DHA	DHI	DHU	DHE	DHO	
		どう			
		DWU			

な	な	に	ぬ	ね	の
	NA	NI	NU	NE	NO
	にゃ	にい	にゅ	にえ	にょ
	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
は	は	ひ	ふ	へ	ほ
	HA	HI	HU	HE	HO
		ひゃ	ひい	ひゅ	ひえ
	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
	ふあ	ふい		ふえ	ふお
	FA	FI		FE	FO
	ふゃ	ふい	ふゅ	ふえ	ふよ
	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
ば	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	BA	BI	BU	BE	BO
	びゃ	びい	びゅ	びえ	びょ
	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぱ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	PA	PI	PU	PE	PO
	ぴゃ	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴょ
	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
ま	ま	み	む	め	も
	MA	MI	MU	ME	MO
	みゃ	みい	みゅ	みえ	みょ
MYA	MYI	MYU	MYE	MYO	
や	や	い	ゆ	いえ	よ
	YA	YI	YU	YE	YO
	ゃ	い	ゅ	え	ょ
LYA	LYI	LYU	LYE	LYO	
XYA	XYI	XYU	XYE	XYO	
ら	ら	り	る	れ	ろ
	RA	RI	RU	RE	RO
	りゃ	りい	りゅ	りえ	りょ
RYA	RYI	RYU	RYE	RYO	
わ	わ	うい	う	うえ	を
	WA	WI	WU	WE	WO
		わ			
	LWA				
	XWA				
ん*2	ん	ん			
NN	NN	N			
うあ	うあ	うい	う	うえ	うお
VA	VI	VU	VE	VO	
カ/ケ	カ	ケ			
	LKA	LKE			
	XKA	XKE			

*1 このほか、後ろに子音を2つ続けても“っ”となります。

[例] せっけん:SEKKENN

*2 このほか、Nに続けて子音(A,I,U,E,O以外)を入力しても、“ん”となります。